

FILE No. 11

高齢者福祉部

1 / 2

ファイルは全23 ファイル、**評価表の見方はFILE No.1**にあります。
 ご覧になりたい**事業名をクリック**すると該当事務事業の表にジャンプします

担当課	整理番号	事務事業名称
計画推進課	168	高齢者等サービス調整チーム運営
	169	高齢者等在宅サービス研究会運営
	175	在宅福祉施策の調査研究
	176	看護婦等修学資金貸付
	177	福祉マンパワー確保の検討
	178	2級課程ホームヘルパーの養成
	179	3級課程ホームヘルパーの養成
	182	訪問看護ステーション助成
	185	老人保健医療等事務
	184	高齢者福祉施策の普及啓発
	223	施設建設助成
	234	学校余裕教室デイサービスセンター実施設計
	235	高齢者在宅サービスセンター桃三ふれあいの家整備
	236	高齢者在宅サービスセンター八成ふれあいの家整備
	237	高齢者在宅サービスセンター大宮ふれあいの家整備
	349(1)	高齢者在宅サービスセンター宮前ふれあいの家建設
	349(2)	高齢者在宅サービスセンター永福ふれあいの家整備
	352	敬老会館改修（高井戸西敬老会館）
	353	敬老会館改修（方南敬老会館）
	介護支援課	202
226		介護保険事業計画策定
227		介護保険事業者連絡会
228		介護保険制度導入に向けた準備事務
229		要介護等認定
230		介護サービス計画作成
231		介護支援専門員の養成
233		要介護認定支援システム、居宅介護支援システムの導入

次頁

介護保険課 / 高齢者活動支援センター

FILE No. 11

高齢者福祉部

2 / 2

ファイルは全23 ファイル、**評価表の見方はFILE No.1**にあります。
 ご覧になりたい**事業名をクリック**すると該当事務事業の表にジャンプします

担当課	整理番号	事務事業名称
介護保険課	232	介護保険制度の普及啓発
高齢者活動支援センター	186	敬老金支給
	187	長寿祝い品贈呈
	188	敬老会
	189	75歳顕彰
	190	無料入浴
	219	老人クラブ運営助成
	220	老人クラブ指導者研修会
	221	シルバー人材センター運営助成
	222	シルバー人材センター運用資金貸付金
	296	高齢者活動支援センター運営・管理
	297	機能回復訓練
	298	浴場組合運営助成
	299	電話訪問事業
	300	健康・就労相談
	301	ゲートボール場運営
	302	杉の樹大学
	303	杉の樹スポーツ大学
	304	公開講座
	305	映画会・各種大会
	306	季節事業
307	いきがい活動支援	
308	敬老会館施設維持管理及び運営委託	
309	わくわく活動	
310	文化事業	
311	健康事業	

前頁

計画推進課 / 介護支援課

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名 高齢者等サービス調整チーム運営 整理番号 168

所属名 高齢者福祉部計画推進課庶務係 コード 120101 上位施策名(コード)

予算事務事業名 保健・福祉計画の推進 コード 20000 *この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する

事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 3 年度	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度	高齢者サービス総合調整推進会議及び高齢者サービス調整 東京都高齢者サービス調整チーム設置運営要綱 杉並区保健・福祉サービス調整会議設置要綱
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 介護を要する高齢者等	
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 福祉事務所長を座長とし、福祉、保健・医療関係者により要 介護者の実態把握、具体的な処遇方策の確立、サービスの調 整などを行う。	活動指標名 会議開催数
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 多様なニーズに対応した、最も適切な保健・医療、福祉サー ビスを総合的に提供する。	成果指標名	

意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか
 区民の誰もが生涯を通じ健康で住みなれた地域にいつまでも暮らし続けることができる。

区分	単位	10年度 実績	11年度		12年度 計画	目標値 年度	目標値に対する11 年度の達成率%	
			計画	実績				
指標	活動指標	回	28	30	19	30		
	活動指標							
	成果指標							
	成果指標							
総事業費・コスト把握	事業費	千円	422	675	82	613		
	職員数(正規 非常勤)	人	0.03	0.20	0.03	0.03	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	271	1,808	271		271
		非常勤職員分	千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	693	2,483	353		884
	単位あたりコスト		千円	25	83	19		29
	財源	受益者負担分	千円					
		その他特定財源	千円					
		差引：一般財源	千円	693	2,483	353		884
	受益者負担比率		%					

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	高齢社会が急速に進む中、介護保険制度の実施により、区の高齢者施策の枠組みも変化している。介護保険によるサービスと一般の保健・医療、福祉サービスを総合的かつ整合性をもって提供していくことが必要になっている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	介護保険事業者との連携や、役割の明確化が求められる。

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者等在宅サービス研究会運営				整理番号		169	
所属名		高齢者福祉部計画推進課庶務係		コード		120101		上位施策名(コード)	
予算事務事業名		保健・福祉計画の推進		コード		20000		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する	
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 5 年度		根拠法令等			
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 杉並区保健・福祉サービス調整会議設置要綱			
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			福祉、保健・医療の関係団体、施設、機関の代表者及び区の職員により、高齢者等の処遇方策の研究などを行う。		活動指標名			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			多様なニーズに対応した、最も適切な保健・医療、福祉サービスを総合的に提供する。		成果指標名			
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 区民の誰もが生涯を通じ健康で住みなれた地域にいつまでも暮らし続けることができる。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標		回	5	5	0	4		
	活動指標		回	1	1	0	1		
	成果指標								
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	466	593	0	483		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.22	0.00	0.00	0.00	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,988	0	0	0		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	2,454	593	0	483		
	単位あたりコスト		千円	491	119	#DIV/0!	121		
	財源	受益者負担分		千円					
		その他特定財源		千円					
差引：一般財源		千円	2,454	593	0	483			
受益者負担比率		%							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			高齢社会が急速に進む中、介護保険制度の実施により、区の高齢者施策の枠組みも変化している。介護保険によるサービスと一般の保健・医療、福祉サービスを総合的かつ整合性をもって提供していくが必要になっている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)								
	今後の予測			介護保険事業者との連携や、役割の明確化が求められる。					

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		在宅福祉施策の調査研究				整理番号		175		
所属名		高齢者福祉部計画推進課庶務係		コード		120101		上位施策名(コード)		
予算事務事業名		在宅福祉の推進		コード		20400		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する		
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 3 年度		根拠法令等				
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 杉並区長期計画 杉並区保健・福祉計画				
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他						
	高年齢者等									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			5年ごとに高齢者の実態調査を実施するとともに、福祉マンパワーの確保等在宅福祉施策の調査研究を行い、保健・福祉計画等の高齢者施策へ反映する。		活動指標名 調査対象者数				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			多様なニーズに対応した、最も適切な保健・医療、福祉サービスを総合的に提供する。		成果指標名					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 区民の誰もが生涯を通じ健康で住みなれた地域にいつまでも暮らし続けることができる。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標		人	0	0	0	7,400			
	活動指標									
	成果指標									
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	233	239	209	0			
	職員数(正規 非常勤)		人		0.02	0.02	0.15		特記事項 前回の実態調査は、平成8年度に実施した。	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	181	181	1,356			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費		千円	233	420	390	1,356			
	単位あたりコスト		千円	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0			
	財源	受益者負担分		千円						
		その他特定財源		千円						
差引:一般財源		千円	233	420	390	1,356				
受益者負担比率		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			高齢社会が急速に進む中、在宅による保健・福祉サービスを推進するため、福祉マンパワーの確保や、訪問看護事業の充実が急務であった。介護保険制度の実施により、これまでの区の高齢者施策の枠組みも変化し、介護保険によるサービスへ移行している。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)									
	今後の予測			これまでの調査目的に加え、介護保険の基盤整備としての役割も必要となっている。						

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		看護婦等修学資金貸付		整理番号		176				
所属名		高齢者福祉部計画推進課庶務係		コード		120101				
上位施策名(コード)										
予算事務事業名		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する								
在宅福祉の推進		コード		20400						
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成 4 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		
	事業終期		● 無 ○ 有 平成 年度		「杉並区長期計画」「杉並区実施計画」					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		福祉マンパワー問題検討会報告					
	区内の医療施設、福祉施設等において看護業務、介護業務、訓練業務及び相談業務に従事しようとする方		杉並区看護婦等修学資金貸付要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名							
区内の医療施設、福祉施設等において看護業務、介護業務、訓練業務及び相談業務に従事しようとする人に資金を貸し付ける。		貸付対象者数								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名								
区内で必要とされる福祉サービスの総量確保のため、その前提として、区内の医療施設、福祉施設等における福祉マンパワーを確保する。		3年以上常勤職員として勤務したことにより貸付金が償還免除となった者の数								
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか										
区内の福祉マンパワーを安定して確保することにより、地域における福祉基盤の確立を図る。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標	人	232	180	189	180				
	活動指標									
	成果指標	人								
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	84,861	73,235	72,775	60,652				
	職員数(正規 非常勤)	人	1.25	1.50	1.70	1.50				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	11,298	13,557	15,365	13,557	特記事項 成果指標 については、借受人が養成施設卒業後に償還免除対象就業期間に到達して初めて、数値が確定するため現時点では不明。 <10年度実績>入学支度金39人・修学金174人・就業支度金19人 <11・12年度計画数値> 入学支度金40人・修学金120人・就業支度金20人 <11年度実績> 入学支度金28人・修学金146人・就業支度金15人		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費	千円	96,159	86,792	88,140	74,209				
	単位あたりコスト	千円	414	482	466	412				
	財源	受益者負担分	千円							
		その他特定財源	千円	11,309	15,156	13,716	10,772			
差引：一般財源		千円	84,850	71,636	74,424	63,437				
受益者負担比率	%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		事業が開始された平成4年度には、医療施設を中心に看護婦等の人材不足が深刻な社会問題となっていた。その後は、「新ゴールドプラン」の実施のため福祉マンパワーの確保が急務とされた。現在は、「ゴールドプラン21」実現に向けた介護保険の基盤整備として福祉マンパワーの確保が求められている。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		資格取得後の区内就業先紹介を希望する要望が多数寄せられている。							
	今後の予測		福祉サービスの大きな部分を占める介護保険での各居宅、施設サービスのサービス提供総量、充足率を見極めることにより、福祉マンパワーが不足している資格、充足傾向にある資格が明らかになる。							

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		福祉マンパワー確保の検討				整理番号	177	
所属名	高齢者福祉部計画推進課庶務係	コード	120101		上位施策名(コード)			
予算事務事業名					*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
在宅福祉の推進		コード	20400					
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 4 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区福祉マンパワー確保推進委員会設置要綱				
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		区内の福祉マンパワー確保に関する関係各課				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	福祉マンパワー確保及び資質の向上等について総合的に推進するために検討を行う。		活動指標名				開催回数
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	区内の福祉マンパワー確保に関し、検討が必要な事項に関し速やかに方針を決定する。		成果指標名				
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 福祉マンパワー確保に関する方針を総合的に検討することにより、地域における福祉基盤の確立を図る。								
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%
				計画	実績	計画	年度	
指標	活動指標		0		0			
	活動指標							
	成果指標							
	成果指標							
総事業費・コスト把握	事業費		千円		17	0	15	
	職員数(正規 非常勤)		人		0.10	0.10	0.10	特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	904	904	904	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	
	総事業費		千円	0	921	904	919	
	単位あたりコスト		千円	#DIV/0!	#DIV/0!			
	財源	受益者負担分	千円					
		その他特定財源	千円					
差引：一般財源		千円	0	921	904	919		
受益者負担比率		%						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		福祉マンパワー確保推進委員会が設置された平成4年当時はゴールドプランの目標数値達成に向けて福祉マンパワー確保が急務とされた。現在は、介護保険の基盤整備としての福祉マンパワー確保が求められている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)							
	今後の予測		保健・福祉計画、介護保険事業計画を見直す際に、各居宅、施設サービスの提供総量、充足率を見極めることが必要となる。今後は、その前提となる福祉マンパワーの総合的な調整が求められる。					

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名 2 級課程ホームヘルパーの養成 整理番号 178

所属名 高齢者福祉部計画推進課庶務係 コード 120101 上位施策名(コード)
 予算事務事業名 *この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する
 在宅福祉の推進 コード 20400

事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11 年度	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度	杉並区訪問介護員養成講習事業実施要綱・要領 訪問介護員に関する省令 東京都「ホームヘルパー養成講習事業実施要綱」
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内で訪問介護員として現在働いている方及び働くことを希望している方	
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 2 級課程の訪問介護員養成講習を実施し、訪問介護員としての必要な知識と技能を修得させる。	活動指標名 養成講習受講者数
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 訪問介護を必要とする高齢者等の多様なニーズに対応できる訪問介護員を養成し、区内の福祉マンパワーの確保を図る。	成果指標名 養成講習修了者中の区内就業者数	

意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか
 地域における介護サービス基盤の整備

区分	単位	10年度実績	11年度		12年度計画	目標値年度	目標値に対する11年度の達成率%	
			計画	実績				
指標	活動指標			150	138	120		
	活動指標							
	成果指標			150	124	120		
	成果指標							
総事業費・コスト把握	事業費	千円		13,165	10,855	8,816		
	職員数(正規 非常勤)	人		0.34	0.80	0.80	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	3,073	7,230		7,230
		非常勤職員分	千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	0	16,238	18,085		16,046
	単位あたりコスト		千円		108	131		134
	財源	受益者負担分	千円		1,575	1,391		816
		その他特定財源	千円			3,674		
		差引：一般財源	千円	0	14,663	13,020		15,230
	受益者負担比率		%		9.7	7.7		5.1

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	2 級課程は登録ヘルパー・現任ヘルパー向けの研修として、実施してきたが、平成11年度から介護保険制度に向けての福祉マンパワー確保施策として実施することとなった。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・「これから働くことを希望する人」の募集枠を広げて欲しい。 ・開催回数を増やして欲しい。
	今後の予測	介護サービスの総量が増加することに伴い、介護保険の在宅サービスの中心である訪問介護については、訪問介護員の養成がさらに求められることとなる。

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名 3級課程ホームヘルパーの養成 整理番号 179

所属名 高齢者福祉部計画推進課庶務係 コード 120101 上位施策名(コード)

予算事務事業名 在宅福祉の推進 コード 20400 *この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する

事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11 年度	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度	杉並区訪問介護員養成講習事業実施要綱・要領 訪問介護員に関する省令 東京都「ホームヘルパー養成講習事業実施要綱」
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内で訪問介護員として現在働いている方及び働くことを希望している方	
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 3級課程の訪問介護員養成講習を実施し、訪問介護員としての必要な知識と技能を修得させる。	活動指標名 養成講習受講者数
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 訪問介護を必要とする高齢者等の多様なニーズに対応できる訪問介護員を養成し、区内の福祉マンパワーの確保を図る。	成果指標名 養成講習修了者中の区内就業者数	

意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか
 地域における介護サービス基盤の整備

区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
			計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標			80	77	120		
	活動指標							
	成果指標			80	62	120		
	成果指標							
総事業費・コスト把握	事業費	千円		4,618	2,398	4,408		
	職員数(正規 非常勤)	人		0.10	0.40	0.40	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	904	3,615		3,615
		非常勤職員分	千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	0	5,522	6,013		8,023
	単位あたりコスト		千円		69	78		67
	財源	受益者負担分	千円		520	372		408
		その他特定財源	千円					
		差引：一般財源	千円	0	5,002	5,641		7,615
受益者負担比率		%		9.4	6.2	5.1		

開始当初から現在までの変化	3級課程は家族介護力のアップを目的として実施してきたが、平成11年度からは介護保険制度に向けての福祉マンパワー確保施策として実施することとなった。
事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<ul style="list-style-type: none"> ・「これから働くことを希望する人」の募集枠を広げて欲しい。 ・開催回数を増やして欲しい。
今後の予測	介護サービスの総量が増加することに伴い、介護保険の在宅サービスの中心である訪問介護については、訪問介護員の養成がさらに求められることとなる。

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		訪問看護ステーション助成				整理番号		182				
所属名		高齢者福祉部計画推進課庶務係		コード		120101		上位施策名(コード)				
予算事務事業名		訪問看護ステーション助成		コード		21220		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 7 年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業					
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 11 年度		杉並区訪問看護ステーション補助金交付要綱							
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区内に訪問看護ステーションを設置した法人等							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		訪問看護ステーションに対し開設・運営助成を行うとともに運営指導を行う。		活動指標名		開設助成団体数及び運営助成団体数					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		在宅療養者のよりよい療養生活の確保と家族の負担・軽減を図るため、区内の訪問看護事業の充実を図る。		成果指標名		指定老人訪問看護ステーション数					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 居宅サービスを提供する事業者の設置を促すことで、地域における福祉基盤の確立を図る。												
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%				
				計画	実績	計画	年度					
指標	活動指標		所	9	9	14	7					
	活動指標											
	成果指標			7	7	13	13					
	成果指標											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	34,000	55,007	54,211	28,000					
	職員数(正規 非常勤)		人	1.30	0.50	0.30	0.10	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	11,749	4,519	2,711	904	活動指標 内訳 <10年度実績> 開設2所・運営7所 <11年度計画> 開設2所・運営7所 *実施計画数値 <11年度実績> 開設5所・運営9所 <12年度計画> 運営7所 *実施計画数値			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				
	総事業費		千円	45,749	59,526	56,922	28,904					
	単位あたりコスト		千円	5,083	6,614	4,066	4,129					
	財源	受益者負担分		千円								
		その他特定財源		千円			138					
差引：一般財源		千円	45,749	59,526	56,784	28,904						
受益者負担比率		%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区が先行して行ってきた訪問看護事業を民間事業者が行うように助成制度を設けたが、平成11年度4月には区内11箇所に設置され、事業が一般化した。12年度からは介護保険の訪問看護事業として位置付けられた。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)											
	今後の予測		介護保険においては、保険医療機関は訪問看護事業者のみなし指定の対象となるためサービスを提供する事業者数は増大した。そうした状況に則し、民間事業者の参入を促す助成制度は11年度をもって廃止した。									

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	老人保健医療等事務	整理番号	185					
所属名	高齢者福祉部計画推進課高齢者医療係	コード	120104					
上位施策名(コード)								
予算事務事業名	老人保健医療等事務	コード	21800					
*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する								
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 58 年度	根拠法令等	<input type="checkbox"/> 実施計画事業				
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度	老人保健法					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	老人の医療費の助成に関する条例・規則					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	マル老=健康保険の加入者で70歳以上の者及び65歳以上の障害認定者 マル福=健康保険加入者(社保本人を除く)で65~69歳の者(所得制限有)						
	対象者に医療受給者証を交付する。医療の給付あるいは医療費の支給をする。	活動加指標名	マル老受給者数 マル福受給者数					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	成果指標名	(代)マル老受給者医療等給付件数						
老後における健康を保持させるとともに、老人受給者に対し、低廉安定的に医療を提供できるようにする。	意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか							
指標	区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%
				計画	実績	計画	年度	
	活動加指標	人	55,839	57,500	57,667	58,900		
	活動加指標	人	16,237	16,000	16,813	16,800		
成果指標	件	1,486,562	1,790,035	1,610,831	1,810,524			
成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,719,263	3,230,471	2,661,140	2,942,863		
	職員数(正規 非常勤)	人	14.00 3.00	14.00 3.00	14.00 3.00	13.00 4.00	特記事項 マル福については東京都の事業を「特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例」により部分的に実施しているため、マル福医療等給付件数は把握できない。	
	人件費	千円	126,532	126,532	126,532	117,494		
	非常勤職員分	千円	9,348	9,348	9,348	12,464		
	総事業費	千円	2,855,143	3,366,351	2,797,020	3,072,821		
	単位あたりコスト	千円	51	59	49	52		
	財源	千円	0	0	0	0		
	受益者負担分	千円	14,782	2,357	18,495	13,826		
差引：一般財源	千円	2,840,361	3,363,994	2,778,525	3,058,995			
受益者負担比率	%	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	65歳以上の高齢者...平成6年=69921人、構成比13.78%、平成11年=81093人、16.15% 老人人口の増加等に伴い、制度も改正されてきている。12年度からは介護保健も始まったが、老健からの移行分は当初計画より遅れている。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	老人医療費の自己負担が増加傾向にあるため不満がある一方で、高齢者も老人医療制度を理解し、医療費を大切に使用したいという意見もある。						
	今後の予測	老人医療費は老人人口の増加、人口の高齢化等により今後も増加の一途をたどると思われる。このまま推移すれば、制度が破綻する。抜本的な改革が必要となっている。						

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者福祉施策の普及啓発				整理番号	184	
所属名		高齢者福祉部計画推進課庶務係		コード	120101	上位施策名(コード)		
予算事務事業名		高齢者福祉施策の計画策定		コード	21700	*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 63 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		11年度は単年度事業として、国際高齢者年記念講演会を実施。10年度・12年度は「高齢者福祉のしおり」を発行し、65歳以上の方がいる世帯に配布。		活動指標名			記念講演会参加者数 高齢者福祉のしおり発行部数
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		・高齢者年と「高齢者のための国連原則」等について、区民の理解を得る。 ・高齢者に関する区の施策(サービス等)について、高齢者等が理解し、必要なときに相談や利用ができるようになる。		成果指標名			(代)高齢者に関するサービスの認知度(各種実態調査による。%)	
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか								
高齢者が必要なサービスを利用し、ゆたかに、より自立して活動できる環境整備を図る。								
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%
				計画	実績	計画	年度	
指標	活動指標		人	0	200	152	0	
	活動指標		冊	82,000	0	0	90,000	
	成果指標		%	39				
	成果指標							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	18,843	1,493	1,364	12,054	
	職員数(正規 非常勤)		人	0.20	0.20	0.20	0.35	特記事項 10年度実施の成果指標は、「介護保険制度のための高齢者実態調査」による保健・福祉サービス(27事業)の認知度(27事業平均)
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,808	1,808	1,808	#REF!	
		非常勤職員分	千円	0	0	1,091	0	
	総事業費		千円	20,651	3,301	4,262	#REF!	
	単位あたりコスト		千円	#DIV/0!	17	28	#REF!	
	財源	受益者負担分	千円					
		その他特定財源	千円					
差引:一般財源		千円	20,651	3,301	4,262	#REF!		
受益者負担比率		%						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		急速に進行する高齢社会にあって、介護保険制度の実施により区の高齢者福祉施策の枠組みが大きく変わっている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)							
	今後の予測		平成17年度には、高齢者人口が総人口の17.9%になると推計されており、高齢者施策の一層の充実を図りつつ、各種サービス等の情報提供が、量的にも内容的にもますます重要になる。					

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		施設建設助成		整理番号		223			
所属名		高年齢福祉部計画推進課計画係		コード		120102			
上位施策名(コード)									
予算事務事業名		施設建設助成		コード		25400			
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する							
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 60 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 32 年度		社会福祉法第58条				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		社会福祉法人に対する助成の手続に関する条例及び同施				
			特別養護老人ホーム等に入所を希望している高齢者及びその家族		杉並区特別養護老人ホーム等整備費補助要綱				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		特別養護老人ホーム等の高齢者入所施設を杉並区内に建設する社会福祉法人に対し、建設費の助成及び20年間に渡り社会福祉・医療事業団借入金償還費助成を行う。		活動指標名			特別養護老人ホーム増加床数(建設費助成) 120床 償還費助成施設 7施設	
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		特別養護老人ホーム等に入所を希望している高齢者が施設に入所し、必要な介護が受けられる。		成果指標名			(代) 保健・福祉計画の達成率(特別養護老人ホーム) (代) 保健・福祉計画の達成率(ケアハウス)		
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか									
家庭での介護が困難な高齢者を特別養護老人ホームで介護することができ、当該高齢者及びその家族の福祉が向上する。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	16年度		
指標	活動指標		千円					100.0	
	活動指標								
	成果指標		床	660	780	780	780	1,038	75.1
	成果指標		床	助成(100床)	助成(100床)	助成(100床)	助成(100床)	170	58.8
総事業費・コスト把握	事業費		千円		1,094,799	1,092,868	626,450		
	職員数(正規 非常勤)		人		0.60	0.60	0.60	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	5,423	5,423	5,423		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	0	1,100,222	1,098,291	631,873		
	単位あたりコスト		千円						
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0		
		その他特定財源	千円	0	0	0	0		
差引:一般財源		千円	0	1,100,222	1,098,291	631,873			
受益者負担比率		%	#DIV/0!	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		特別養護老人ホーム等の待機者は多く、入所定員枠の確保が必要とされている。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		特別養護老人ホーム等の高齢者施設の入所定員枠の拡大が期待されている。平成12年3月末日現在の特別養護老人ホーム待機者数は753名である。						
	今後の予測		介護保険制度が始まったばかりである。今後の在宅サービス提供量の増加、また、区民の施設サービスの利用希望等を踏まえ、区民の要望に応えられるよう施設を整備していく必要がある。						

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学校余裕教室デイサービスセンター実施設計				整理番号		234			
所属名		高齢者福祉部計画推進課計画係		コード		120102		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		デイサービスセンター施設整備		コード		25680		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11 年度		根拠法令等					<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 11 年度		老人福祉法第15条第2項					高齢者在宅サービスセンター事業実施要綱	
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 学校5校(桃三小、八成小、大宮中、方南小、松溪中)								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		上記学校について、学校の余裕教室を改修し、通所介護施設として整備するための建築設計を、平成11年度単年度で行う。			活動指標名					実施設計を行った施設数
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		桃三、八成、大宮の3所は、平成11年度に着工(年度内に竣工)し、平成12年4月に開所する。方南、松溪の2所は、平成12年度に着工(平成12年中竣工)し、平成13年2月に開所する。			成果指標名					設計の進捗率
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか											
同施設の設置により、介護保険制度の基盤整備をすすめ、地域に介護サービス(通所介護)を提供する体制を整える。											
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績	計画	年度				
指標	活動指標		所		5	5			100.0		
	活動指標										
	成果指標		%		100	100			100.0		
	成果指標										
総事業費・コスト把握	事業費		千円		10,530	8,749					
	職員数(正規 非常勤)		人		1.00	0.00	1.00	0.00	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	9,038	9,038				
		非常勤職員分		千円	0	0	0				
	総事業費		千円	0	19,568	17,787					
	単位あたりコスト		千円		3,914	3,557					
	財源	受益者負担分		千円							
		その他特定財源		千円							
差引:一般財源		千円	0	19,568	17,787						
受益者負担比率		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		介護保険事業計画の推計によると、平成12年度の介護保険の給付対象となる第一号被保険者数は、10,549人、出現率(65歳以上人口比)は12.4%である。平成12年7月31日現在の同数値は、9,752人、出現率は11.7%である。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		「杉並区介護保険制度のための高齢者実態調査」(平成11年3月)の介護保険サービスの今後の利用意向において、65歳以上の高齢者の23.3%がデイケアサービスを利用したいと回答している。								
	今後の予測		介護保険事業計画の推計では、平成16年度の介護保険の給付対象となる第一号被保険者数は11,644人、出現率12.8%となっている。								

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者在宅サービスセンター桃三ふれあいの家整備				整理番号	235		
所属名		高齢者福祉部計画推進課計画係		コード	120102	上位施策名(コード)			
予算事務事業名		デイサービス施設整備		コード	25680	*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成 11 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期		○ 無 ● 有 平成 11 年度		老人福祉法第15条第2項			高齢者在宅サービスセンター事業実施要綱	
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 桃井第三小学校(桃三ふれあいの家)						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		平成12年4月の介護保険制度の開始に備え、平成11年度の単年度で桃井第三小学校の余裕教室を改修し、通所介護施設(デイサービスセンター)として整備する。		活動指標名			延べ床面積 施設の利用定員	
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		介護保険制度が開始される平成12年4月から「桃三ふれあいの家」が利用できる。当施設で介護を要する高齢者が、身体機能回復の訓練やレクリエーション活動を行い、また日常生活の世話や食事の提供等を受けることができる。		成果指標名			改修工事進捗率 桃三ふれあいの家の利用対象となる施設周辺地域の居宅サービス対象者数	
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 同施設の設置により、介護保険制度の基盤整備をすすめ、地域に居宅サービス(通所介護)を提供する体制を整える。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	11年度		
指標	活動指標		m ²		188	188		188	100.0
	活動指標		人		20	20		20	100.0
	成果指標		%		100	100		100	100.0
	成果指標		人						
総事業費・コスト把握	事業費		千円		59,161	60,441			
	職員数(正規 非常勤)		人		0.79	0.00	0.79	0.00	特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	7,140	7,140			
		非常勤職員分	千円	0	0	0			
	総事業費		千円	0	66,301	67,581			
	単位あたりコスト		千円		353	359			
	財源	受益者負担分	千円						
		その他特定財源	千円		20,974	20,974			
差引:一般財源		千円	0	45,327	46,607				
受益者負担比率		%							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		介護保険事業計画の推計によると、平成12年度の介護保険の給付対象となる第一号被保険者数は、10,549人、出現率(65歳以上人口比)は12.4%である。平成12年7月31日現在の同数値は、9,752人、出現率は11.7%である。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		「杉並区介護保険制度のための高齢者実態調査」(平成11年3月)の介護保険サービスの今後の利用意向において、65歳以上の高齢者の23.3%がデイケアサービスを利用したいと回答している。						
	今後の予測		介護保険事業計画の推計では、平成16年度の介護保険の給付対象となる第一号被保険者数は11,644人、出現率12.8%となっている。						

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者在宅サービスセンター八成ふれあいの家整備				整理番号	236		
所属名		高齢者福祉部計画推進課計画係		コード	120102	上位施策名(コード)			
予算事務事業名		デイサービス施設整備		コード	25680	*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 11年度		老人福祉法第15条第2項				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 八成小学校(八成ふれあいの家)		高齢者在宅サービスセンター事業実施要綱				
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		平成12年4月の介護保険制度の開始に備え、平成11年度の単年度で八成小学校の余裕教室を改修し、通所介護施設(デイサービスセンター)として整備する。		活動指標名			延べ床面積 施設の利用定員	
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		介護保険制度が開始される平成12年4月から「八成ふれあいの家」が利用できる。当施設で介護を要する高齢者が、身体機能回復の訓練やレクリエーション活動を行い、また日常生活の世話や食事の提供等を受けることができる。		成果指標名			改修工事進捗率 八成ふれあいの家の利用対象となる施設周辺地域の居宅サービス対象者数	
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 同施設の設置により、介護保険制度の基盤整備をすすめ、地域に居宅サービス(通所介護)を提供する体制を整える。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	11年度		
指標	活動指標		m ²		213	213		213	100.0
	活動指標		人		20	20		20	100.0
	成果指標		%		100	100		100	100.0
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円		59,712	61,152			
	職員数(正規 非常勤)		人		0.78	0.00	0.78	0.00	特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	7,050	7,050		
		非常勤職員分		千円	0	0	0		
	総事業費		千円	0	66,762	68,202			
	単位あたりコスト		千円		313	320			
	財源	受益者負担分		千円					
		その他特定財源		千円		20,974	20,451		
		差引:一般財源		千円	0	45,788	47,751		
受益者負担比率		%							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		介護保険事業計画の推計によると、平成12年度の介護保険の給付対象となる第一号被保険者数は、10,549人、出現率(65歳以上人口比)は12.4%である。平成12年7月31日現在の同数値は、9,752人、出現率は11.7%である。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		「杉並区介護保険制度のための高齢者実態調査」(平成11年3月)の介護保険サービスの今後の利用意向において、65歳以上の高齢者の23.3%がデイケアサービスを利用したいと回答している。						
	今後の予測		介護保険事業計画の推計では、平成16年度の介護保険の給付対象となる第一号被保険者数は11,644人、出現率12.8%となっている。						

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者在宅サービスセンター大宮ふれあいの家整備				整理番号		237			
所属名		高齢者福祉部計画推進課計画係		コード		120102		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		デイサービス施設整備		コード		25680		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			○ 昭和 ● 平成 11 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期			○ 無 ● 有 平成 11 年度		老人福祉法第15条第2項				高齢者在宅サービスセンター事業実施要綱	
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 大宮中学校(大宮ふれあいの家)							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			平成12年4月の介護保険制度の開始に備え、平成11年度の単年度で大宮中学校の余裕教室を改修し、通所介護施設(デイサービスセンター)として整備する。		活動指標名				延べ床面積 施設の利用定員	
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)			介護保険制度が開始される平成12年4月から「大宮ふれあいの家」が利用できる。当施設で介護を要する高齢者が、身体機能回復の訓練やレクリエーション活動を行い、また日常生活の世話や食事の提供等を受けることができる。		成果指標名				改修工事進捗率 大宮ふれあいの家の利用対象となる周辺地域の居宅サービス対象者数	
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか											
同施設の設置により、介護保険制度の基盤整備をすすめ、地域に居宅サービス(通所介護)を提供する体制を整える。											
区分		単位	10年度実績	11年度				12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画		実績					
指標	活動指標		m ²		207	207		207	100.0		
	活動指標		人		20	20		20	100.0		
	成果指標		%		100	100		100	100.0		
	成果指標		人								
総事業費・コスト把握	事業費		千円		73,357	65,793					
	職員数(正規 非常勤)		人		0.76	0.00	0.76	0.00	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	6,869	6,869				
		非常勤職員分		千円	0	0	0				
	総事業費		千円	0	80,226	72,662					
	単位あたりコスト		千円		388	351					
	財源	受益者負担分		千円							
		その他特定財源		千円		20,974	20,974				
差引:一般財源		千円	0	59,252	51,688						
受益者負担比率		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			介護保険事業計画の推計によると、平成12年度の介護保険の給付対象となる第一号被保険者数は、10,549人、出現率(65歳以上人口比)は12.4%である。平成12年7月31日現在の同数値は、9,752人、出現率は11.7%である。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			「杉並区介護保険制度のための高齢者実態調査」(平成11年3月)の介護保険サービスの今後の利用意向において、65歳以上の高齢者の23.3%がデイケアサービスを利用したいと回答している。							
	今後の予測			介護保険事業計画の推計では、平成16年度の介護保険の給付対象となる第一号被保険者数は11,644人、出現率12.8%となっている。							

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者在宅サービスセンター宮前ふれあいの家建設				整理番号	349(1)				
所属名		高齢者福祉部計画推進課計画係		コード	120102		上位施策名(コード)				
予算事務事業名		高齢者在宅サービスセンター建設		コード	33000		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事務事業の概要	事業開始年度			○ 昭和 ● 平成 11		根拠法令等			☑ 実施計画事業		
	事業終期			○ 無 ● 有 平成 12 年度		老人福祉法第15条第2項					
	対象			☐ 個人 ☐ 世帯 ☐ 団体 ☑ その他		高齢者在宅サービスセンター事業実施要綱					
	宮前ふれあいの家										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			活動指標名							
平成11年度に土地を購入し、平成11～12年度の2か年度で、通所介護施設(デイサービスセンター)「宮前ふれあいの家」を建設する。			延べ床面積								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			施設の利用定員								
平成12年9月から「宮前ふれあいの家」が利用できる。介護を要する高齢者が、身体機能回復の訓練やレクリエーション活動を行い、日常生活の世話や食事の提供等を受けることができる。			成果指標名								
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか。			平成11年度の建設工事進捗率								
同施設の設置により、介護保険制度の基盤整備をすすめ、地域に介護サービス(通所介護)を提供する体制を整える。			宮前ふれあいの家の利用対象となる周辺地域の居宅サービス対象者数								
区分	単位	10年度実績	11年度				12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
			計画		実績						
指標	活動指標	m ²					1,037	60.0			
	活動指標	人					70				
	成果指標	%		60	60	40	100	60.0			
	成果指標										
総事業費・コスト把握	事業費		千円		545,030	531,185	295,611				
	職員数(正規 非常勤)		人		0.21	0.00	0.21	0.00	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	1,898	1,898					
		非常勤職員分	千円	0	0	0					
	総事業費		千円	0	546,928	533,083					
	単位あたりコスト		千円								
	財源	受益者負担分	千円								
		その他特定財源	千円		55,906	55,906	45,480				
差引:一般財源		千円	0	491,022	477,177						
受益者負担比率		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		介護保険事業計画の推計によると、平成12年度の介護保険の給付対象となる第一号被保険者数は、10,549人、出現率(65歳以上人口比)は12.4%である。平成12年7月31日現在の同数値は、9,752人、出現率は11.7%である。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		「杉並区介護保険制度のための高齢者実態調査」(平成11年3月)の介護保険サービスの今後の利用意向において、65歳以上の高齢者の23.3%がデイケアサービスを利用したいと回答している。								
	今後の予測		介護保険事業計画の推計では、平成16年度の介護保険の給付対象となる第一号被保険者数は11,644人、出現率12.8%となっている。								

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者在宅サービスセンター永福ふれあいの家整備				整理番号	349(2)		
所属名		高齢者福祉部計画推進課計画係		コード	120102		上位施策名(コード)		
予算事務事業名		高齢者在宅サービスセンター建設		コード	33000		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する		
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期			<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 11 年度		老人福祉法第15条第2項			高齢者在宅サービスセンター事業実施要綱
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 永福ふれあいの家					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			平成12年4月から区が通所介護事業を開始するため、平成11年度に初度備品の購入及び機械警備設備の設置を行う。建物は民間(区民)から借り上げる。		活動指標名			延べ床面積 施設の利用定員
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			介護保険制度が開始される平成12年4月から「永福ふれあいの家」が利用できる。当施設で介護を要する高齢者が、身体機能回復の訓練やレクリエーション活動を行い、また日常生活の世話や食事の提供等を受けることができる。		成果指標名			永福ふれあいの家の利用対象となる周辺地域の居宅サービス対象者数
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか。 同施設の設置により、介護保険制度の基盤整備をすすめ、地域に居宅サービス(通所介護)を提供する体制を整える。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績		計画		11年度
指標	活動指標		m ²		1,041	1,041	1,041	100.0	
	活動指標		人		70	70	70	100.0	
	成果指標								
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円		26,700	21,551			
	職員数(正規 非常勤)		人		1.02	0.00	1.02	0.00	特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	9,219	9,219		
		非常勤職員分		千円	0	0	0		
	総事業費		千円	0	35,919	30,770			
	単位あたりコスト		千円		35	30			
	財源	受益者負担分		千円					
		その他特定財源		千円		8,210	8,210		
差引:一般財源		千円	0	27,709	22,560				
受益者負担比率		%							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			介護保険事業計画の推計によると、平成12年度の介護保険の給付対象となる第一号被保険者数は、10,549人、出現率(65歳以上人口比)は12.4%である。平成12年7月31日現在の同数値は、9,752人、出現率は11.7%である。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			「杉並区介護保険制度のための高齢者実態調査」(平成11年3月)の介護保険サービスの今後の利用意向において、65歳以上の高齢者の23.3%がデイケアサービスを利用したいと回答している。					
	今後の予測			介護保険事業計画の推計では、平成16年度の介護保険の給付対象となる第一号被保険者数は11,644人、出現率12.8%となっている。					

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名 敬老会館改修（高井戸西敬老会館） 整理番号 352

所属名 高齢者福祉部計画推進課 コード 120102 上位施策名（コード）

予算事務事業名 敬老会館改修 コード 33600 *この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する

事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 10 年度	根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 11 年度	老人福祉法第4条 老人憩の家設置運営について（厚生省社会局長通知）
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 60歳以上の区民	
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 平成10年度に設計を行い、平成11年度にIS値（耐震基準）の基準0.6を満たすように耐震補強工事を行った。（高井戸西児童館との併設である。）	活動指標名 耐震補強された敬老会館数
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 利用者が安心して利用できる施設とする。	成果指標名 耐震補強工事が完了した敬老会館 ÷ 工事が必要な敬老会館	

意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか
 高齢者が憩い、交流する場が確保できる。耐震基準を満たした区立施設となる。

区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値 11年度	目標値に対する11年度の達成率%			
			計画	実績						
指標	活動指標	所		1	1	0	1	100.0		
	活動指標									
	成果指標	所		1	1	0	1	100.0		
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費	千円		6,015	3,576	0				
	職員数(正規 非常勤)	人	0.00	0.07	0.07	0.00	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	633	633			0	
		非常勤職員分	千円	0	0	0			0	
	総事業費	千円	0	6,648	4,209	0				
	単位あたりコスト	千円		6,648	4,209	#DIV/0!				
	財源	受益者負担分	千円		0	0			0	
		その他特定財源	千円		0	0			0	
差引：一般財源		千円	0	6,648	4,209	0				
受益者負担比率	%		0.0	0.0	#DIV/0!					

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	耐震基準に満たない区立施設の補強工事は、安心して利用できる施設にするために重要である。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	耐震補強工事をするため、一ヶ月程敬老会館を閉館した。グループ利用者の代表者には手紙で、個人利用者には館内の張り紙で閉館を周知した。利用者も耐震の補強することに理解を示し苦情等はなかった。
	今後の予測	敬老会館の耐震補強工事は、完了した。

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		敬老会館改修（方南敬老会館）			整理番号	353		
所属名		高齢者福祉部計画推進課		コード	120102			
予算事務事業名		敬老会館改修		コード	33600			
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する						
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11 年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期			<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 11 年度		老人福祉法第4条		
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 60歳以上の区民		老人憩いの家の設置運営について（厚生省社会局長通知） 東京都介護保険関連サービス基盤整備事業実施要綱		
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）			方南児童館の一階一部分を改修し、和田敬老会館を移転させ、名称を方南敬老会館と変更した。また、施設内の備品等を揃えた。				
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）			老朽化した敬老会館を改修することにより、より利用しやすい敬老会館となる。				
活動指標名			改修の1㎡当たりの単価（初度備品等の購入費を含む）					
成果指標名			改修した敬老会館数					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか								
高齢者の憩いの場、交流の場を確保することにより、高齢者が豊かに、より自立して生きることにつながる。								
指標	区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%
				計画	実績	計画	12年度	
	活動指標	㎡		179	179	0		
	成果指標			2	2	0	2	100.0
総事業費・コスト把握	事業費		千円		66,717			
	職員数（正規 非常勤）		人		0.56			特記事項
	人件費	職員分（超勤分含む）	千円	0	0	5,061	0	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	
	総事業費		千円	0	0	71,778	0	
	単位あたりコスト		千円		0	401	#DIV/0!	
	財源	受益者負担分	千円			0		
		その他特定財源	千円			45,358		
差引：一般財源		千円	0	0	26,420	0		
受益者負担比率		%			0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			和田敬老会館は老朽化が著しかったため、改修が必要であった。このため、方南児童館の一階一部分を敬老会館として改修し、和田敬老会館を移転させ名称を方南敬老会館とした。また、改修することにより、段差をなくし、手すり、車いす対応便所等を設置し、利用しやすい施設とした。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			移転改修を行うにあたり、利用者に対し説明会を行った。移転することにより、家からの距離が今までより離れてしまうとの意見も出たが、むしろ、移転改修することにより、使いやすく新しい施設になるとして歓迎された。また、移転後は、利用率も以前より上昇し、特に浴室は好評である。				
	今後の予測			敬老会館の改修工事は完了した。				

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		在宅介護支援センター（ケア24）の運営				整理番号	202		
所属名		高齢者福祉部介護支援課		コード	120201		上位施策名（コード）		
予算事務事業名		介護支援センター運営		コード	23310		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する		
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 6 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		老人福祉法			
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並区立在宅介護支援センター条例			
	身体が虚弱、なたきり又は痴呆等のため、日常生活を営むのに支障がある高齢者及びその家族等。								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）			在宅介護に関する総合的な相談、助言。保健・福祉サービスの申請受付、連絡調整。介護保険に関する相談、申請受付、調査。福祉機器の展示、紹介。					
活動指標名			相談件数 在宅介護支援センター数						
意図（対象をどのような状態にしたいのか）			在宅の要介護高齢者等及びその介護者等に対し、介護に関するニーズに対応した相談、助言、調整を行うことにより、各種サービスが、総合的及び効果的に受けられるようにする。						
成果指標名			相談受付者の内、各種サービスを利用した件数						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか									
高齢者の要介護状態の改善・悪化防止、介護者の負担軽減、また高齢者が要介護状態になることを防止することにより、高齢者ができるだけ長く自立し、住みなれた地域で暮らし続けることができるようにする。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	16年度		
指標	活動指標		件	16,148	22,000	22,501	22,800		
	活動指標		所	5	7	7		11	
	成果指標		件	1,256		1,353			
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	123,478	176,045	172,702	127,495		
	職員数（正規 非常勤）		人	0.40 0.00	0.90 0.00	0.90 0.00	1.10 0.00	特記事項	
	人件費	職員分（超勤分含む）		千円	3,615	8,134	8,134	9,942	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	
	総事業費		千円	127,093	184,179	180,836	137,437		
	単位あたりコスト		千円	8	8	8	6		
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	
		その他特定財源		千円	78,761	108,297	108,232	53,358	
		差引：一般財源		千円	48,332	75,882	72,604	84,079	
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			平成6年度に開設した2所から、平成11年度には実施計画上の整備目標である7所すべてが開設された。相談件数は、平成6年度は1,848件だったが、平成11年度には、22,501件あった。また、平成12年度の介護保険制度導入に向けて、平成11年10月から準備要介護認定の申請受付、調査を新たに各支援センターに委託した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			平成11年度区政実態調査では、杉並区に整備・充実して欲しいと思う施設の第4位に、在宅介護支援センターが挙げられている。					
	今後の予測			高齢者に関する相談はさらに多様化していくと思われ、高齢社会の複合的な問題に対応するため、基幹型支援センターを含めた在宅介護支援センターの整備が必要である。平成13年度に基幹型支援センターを1所設置する予定である。地域型支援センターの新設については検討中である。					

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		介護保険事業計画策定				整理番号		226	
所属名		高齢者福祉部介護支援課管理係		コード		120201		上位施策名(コード)	
予算事務事業名		介護保険制度準備		コード		25660		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する	
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 10 年度		根拠法令等			
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 介護保険法 杉並区介護保険事業懇談会設置要綱			
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他					
	区民 居宅サービス提供事業者 介護保険施設 居宅介護支援事業者								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			介護保険事業懇談会や住民説明会での区民の意見を踏まえ、介護給付サービス量の見込みやその確保策等を盛り込んだ平成12~16年度までの事業計画を策定した。		活動指標名			
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			区民に介護保険事業を理解してもらう 介護を必要とする高齢者に有効にサービスを利用してもらう 介護給付サービスを提供する事業者の参入を促進する。		成果指標名				
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標		部	0	1,300	5,000	0		
	活動指標		回	6	5	8	6		
	成果指標								
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,229	2,356	2,739	2,234		
	職員数(正規 非常勤)		人	4.00 0.00	6.30 0.00	6.99 0.00	0.60 0.00	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	36,152	56,939	63,176	5,423		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	38,381	59,295	65,915	7,657		
	単位あたりコスト		千円	#DIV/0!	46	13	#DIV/0!		
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0		
		その他特定財源	千円	900	0	0	0		
		差引:一般財源	千円	37,481	59,295	65,915	7,657		
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		介護保険事業懇談会(委員19名)は平成12年3月で終了。12年度からは介護保険運営協議会(委員22名)を設置。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		・現在のサービス量を低下させないでほしい。 ・要支援、要介護にならないための施策の推進を充実して欲しい ・余裕教室などを活用し、高齢者施設を増やして欲しい。など						
	今後の予測		5年を一期とする計画を3年ごとに定めるため、次期計画は平成14年度に策定する。						

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		介護保険事業者連絡会				整理番号		227					
所属名		高齢者福祉部介護支援課管理係		コード		120201		上位施策名(コード)					
予算事務事業名		介護保険制度準備		コード		25660		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する					
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 10 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業			
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		介護保険法							
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他									
	介護保険居宅サービス提供事業者 居宅介護支援事業者 介護保険施設												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			介護保険の情報提供や連絡調整		活動指標名				介護保険事業者連絡会開催回数 連絡会に参加した事業者等の数			
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			サービスの量と質の向上を図るため、区と事業者、事業者相互の連携を強化し、参加しやすい状況をつくる。		成果指標名				杉並区に事業参加した指定居宅介護支援事業者数 杉並区に事業参加した指定居宅サービス事業者数				
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか													
区分		単位	10年度実績		11年度				12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
					計画		実績		計画		年度		
指標		活動指標	回			4		4		4			
		活動指標	社			400		329		400			
		成果指標						174					
		成果指標						594					
総事業費・コスト把握		事業費	千円	58		308		0		234			
		職員数(正規 非常勤)	人	0.50	0.00	0.50	0.00	0.57	0.00	0.50	特記事項		
		人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,519		4,519		5,152		4,519		
			非常勤職員分	千円	0		0		0		0		
		総事業費	千円	4,577		4,827		5,152		4,753			
		単位あたりコスト	千円			1,207		1,288		1,188			
		財源	受益者負担分	千円	0		0		0		0		
			その他特定財源	千円	0		0		0		0		
			差引:一般財源	千円	4,577		4,827		5,152		4,753		
受益者負担比率	%	0.0		0.0		0.0		0.0					
事業を取り巻く環境		開始当初から現在までの変化			当初は、居宅サービス提供事業者全体で開催していたが、各サービス種類ごとに開催する必要があるため、まず12年度に訪問介護サービス事業者の連絡会を開催した。								
		事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			・事業者に対して、公平な立場からしっかりと監督して欲しい。利用者は弱者である現実を知って欲しい ・より良いサービス事業者を選べるよう情報が欲しい								
		今後の予測			高齢者人口が増加し、要介護高齢者が増加するなかで、介護サービスの提供量の増加と介護サービスの質の向上が求められる。								

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		介護保険制度導入に向けた準備事務				整理番号		228			
所属名		高齢者福祉部介護支援課管理係		コード		120201		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		介護保険制度準備		コード		25660		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 10 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期			<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 11 年度		介護保険法					
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他							
	被保険者			居宅介護支援事業者 居宅サービス提供事業者							
	介護保険施設										
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			平成12年4月から介護保険制度を円滑に開始するための準備事務(申請勧奨、緊急基盤整備、杉並区における介護保険事業の仕組みづくり)		活動指標名						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			対象者が安心して申請や介護サービスを受給できる状態にすること。		成果指標名						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか											
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績	計画	年度				
指標	活動指標										
	活動指標										
	成果指標										
	成果指標										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	8,911	21,125	14,445	0				
	職員数(正規 非常勤)		人	2.00	0.00	14.00	0.00	14.78	0.00	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	18,076	126,532	133,582	0			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			
	総事業費		千円	26,987	147,657	148,027	0				
	単位あたりコスト		千円								
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			
		その他特定財源		千円	383	2,250	11,693	0			
		差引:一般財源		千円	26,604	145,407	136,334	0			
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	#DIV/0!					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年4月から介護保険制度開始。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		・国や都に対し区民に代わって、改善の要望をして欲しい ・低所得者に対して減免措置など配慮して欲しい ・苦情処理をしっかりと、受ける側が安心感を持てるようにして欲しい ・オンブズマン制度をつくるべき ・家族介護者にも相当の手当を支給するべき ・保険料のランクは細かく設定すべき。高額所得者の負担を多くして欲しい ・介護サービスを利用しなかった人へ何らかの見返りを								
	今後の予測		準備事務につき、11年度をもって終了。								

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	要介護等認定	整理番号	229							
所属名	高齢者福祉部介護支援課管理係	コード	120201							
予算事務事業名	介護保険制度準備	コード	25660							
		上位施策名(コード) *この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する								
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11 年度								
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度								
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他								
	要介護等認定申請者									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 介護保険法 介護保険法施行令 介護保険法施行規則								
活動加指標名	申請件数 要介護認定件数									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	公正・公平かつ迅速に認定を行う。									
成果指標名	申請総数に対して、30日以内に認定処理できなかった割合(11年度は準備期間中につき、資料なし)									
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか										
指標	区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績	計画	16年度			
	活動加指標	件数		12,000	9,761	10,549	11,644	83.8		
	成果指標	件数		12,000	8,441	10,549	11,644	72.5		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,828	123,436	92,734	215,802				
	職員数(正規 非常勤)	人	0.50	55.00	60.25	58.40	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,519	497,090	544,540	527,819	平成12年度は、6か月ごとの更新申請があるため、平成11年度に比較して、要介護等認定事務処理件数が増加することに伴い、事業費も増えている。また、介護保険関連システム(小型系)の維持管理費等を、この事業費に含めている。		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費	千円	7,347	620,526	637,274	743,621				
	単位あたりコスト	千円		52	65	70				
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0			
		その他特定財源	千円	2,828	3,617	48,194	88,023			
差引:一般財源		千円	4,519	616,909	589,080	655,598				
受益者負担比率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	認定の有効期間は原則6か月間であるが、平成11年度準備期間中の認定申請については、特例として要支援=3か月、要介護1=5か月、要介護2=7か月、要介護3=8か月、要介護4=10か月、要介護5=12か月に設定した。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	公正・公平な審査の徹底。 適正かつ迅速な認定に努めてほしい。								
	今後の予測	高齢化の進行に伴い、新規申請が随時生じるとともに、6か月ごとの更新申請もある。杉並区の65歳以上の人口推計では、平成12年度 85,144人、16年度 90,780人となっており、年々増加する高齢者人口に比例して、事務処理件数も増えていく。								

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		介護サービス計画作成				整理番号		230				
所属名		高齢者福祉部介護支援課管理係		コード		120201		上位施策名(コード)				
予算事務事業名		介護保険制度準備		コード		25660		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 10 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業		
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		介護保険法						
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他								
	契約等についての理解能力が欠ける要支援・要介護認定者											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			介護サービス計画の相談や事業者紹介を行う。また、必要な場合には区が居宅介護支援事業者として計画作成する。		活動指標名				居宅介護サービス計画作成件数		
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			介護サービス計画作成を希望する要支援・要介護認定者の全てに、計画が作成されることにより居宅サービスの利用を可能とする。		成果指標名				居宅介護サービス計画作成件数			
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか												
区分		単位	10年度実績	11年度				12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画		実績		計画		年度		
指標	活動指標		人	0	3,000		77		4,968			
	活動指標											
	成果指標		人		3,000		77		4,968			
	成果指標											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	184	4,912		840					
	職員数(正規 非常勤)		人		3.00	0.00	3.16	0.00	6.80	0.00	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	27,114		28,560		61,458		
		非常勤職員分		千円	0	0		0		0		
	総事業費		千円	184	32,026		29,400		61,458			
	単位あたりコスト		千円	#DIV/0!	11		382		12			
	財源	受益者負担分		千円								
		その他特定財源		千円	172							
		差引:一般財源		千円	12	32,026		29,400		61,458		
受益者負担比率		%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			厚生省の介護報酬単価の決定が遅れ、実質的な介護サービス計画の作成は12年2月以降に集中した。このため、福祉事務所が利用者に対して計画作成の手続き状況について問い合わせを行い、遅れている区民には、相談や事業者の紹介などの対応を行った。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			・居宅介護支援事業者の公正・中立性は制度の根幹に関わる問題なので、区として適性に指導してほしい。・居宅介護支援事業者について積極的な情報提供に努めて欲しい。								
	今後の予測			介護サービス計画は民間事業者が主体となるため、介護保険制度や手続きが今以上周知されれば、区の介護サービス計画作成件数は少なくなるものと見込まれる。								

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		介護支援専門員の養成				整理番号		231					
所属名		高齢者福祉部介護支援課管理係		コード		120201		上位施策名(コード)					
予算事務事業名		介護保険制度準備		コード		25660		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する					
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 10 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業			
	事業終期			<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 12 年度		介護保険法				指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準			
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		介護支援専門員を希望する区職員 介護支援専門員として区内の居宅介護支援事業所への勤務予定者							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			・介護保険制度の重要な役割を担う介護支援専門員の資格取得支援・介護支援専門員実務研修受講試験を受験するための事前講習会・有資格者に対しての研修や情報提供		活動指標名				介護支援専門員養成講習会参加者数 介護支援専門員研修会参加者数			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			訪問調査やケアプラン作成に必要な介護支援専門員を確保する。また、介護保険を利用者が利用しやすくするために、質の向上を図る。		成果指標名				講習会参加者で介護支援専門員従事者数 区職員で介護支援専門員合格者数			
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか													
区分		単位	10年度実績		11年度				12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
					計画		実績		計画		年度		
指標	活動指標		人			120		230		40			
	活動指標					360		576		400			
	成果指標		人										
	成果指標		人	68		90		19		30			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,256		4,398		844		1,969			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50	0.00	0.50	0.00	0.57	0.00	0.30	0.00	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,519		4,519		5,152		2,711		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		
	総事業費		千円	5,775		8,917		5,996		4,680			
	単位あたりコスト		千円			74		26		117			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		
		その他特定財源		千円	0		0		0		0		
		差引:一般財源		千円	5,775		8,917		5,996		4,680		
受益者負担比率		%	0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			介護支援専門員実務受講研修試験は、都道府県が実施する。10年度は試験日が2回設定されたが、11年度は1回、12年度も11月に1回が予定されている。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			介護支援専門員の質の向上に努めて欲しい									
	今後の予測			この事業は、介護保険制度の安定的・継続的な運営のため、区職員の養成を除き今後も引き続き実施が必要である。									

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		要介護認定支援システム、居宅介護支援システムの導入				整理番号		233				
所属名		高齢者福祉部介護支援課管理係		コード		120201		上位施策名(コード)				
予算事務事業名		介護保険制度準備		コード		25660		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 10 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業		
	事業終期			<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 11 年度		介護保険法						
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		介護保険法施行令						
	要介護認定事務、ケアプラン作成等の居宅介護支援事務					介護保険施行規則						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					活動指標名						
調査票・意見書出力及び読込、認定審査会資料作成及び結果入力、各種報酬支払、ケアプラン作成等にクライアントサーバシステムを導入する。					要介護認定申請件数				ケアプラン作成件数			
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)					成果指標名							
要介護認定及びケアプラン作成を迅速に進め、これに伴う事務を効率的に行う。												
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか												
区分		単位	10年度実績	11年度				12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画		実績					計画	年度
指標	活動指標		件		12,000		9,761					
	活動指標		件		3,000		77					
	成果指標											
	成果指標											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0		36,397		32,202				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50	0.00	5.20	0.00	5.72	0.00	特記事項 総合情報システム推進委員会評価部会で評価を行う方が適しており、その評価結果を区民に公開すべきである。		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,519		46,998		51,697			
		非常勤職員分		千円	0		0		0			
	総事業費		千円	4,519		83,395		83,899			0	
	単位あたりコスト		千円			7		9				
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0	
		その他特定財源		千円	0		0		0		0	
		差引：一般財源		千円	4,519		83,395		83,899		0	
受益者負担比率		%	0.0		0.0		0.0		#DIV/0!			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)											
	今後の予測			高齢化の進展に伴い、新規、更新を含め要介護認定申請者数は増加するため、これに比例して事務処理件数も増加する。								

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		敬老金支給		整理番号	186				
所属名		高齢者福祉部高齢者活動支援センター管理(コード)		121031		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		長寿祝い金品の贈呈		コード		22000			
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する							
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 50 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 11 年度		老人福祉法第4、5条				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並区敬老金に関する条例				
	80歳以上の区民		杉並区敬老金に関する条例施行規則						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		80歳以上の区民に5,000円を支給する。		活動指標名			対象者数	
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		敬老の意を表する。		成果指標名					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 高齢者福祉の増進に寄与する。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標		人	19,103	20,460	19,515			
	活動指標								
	成果指標								
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	97,849	102,300	99,990			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50	0.30	0.34		特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,519	2,711	3,073	0		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	102,368	105,011	103,063	0		
	単位あたりコスト		千円	5	5	5			
	財源	受益者負担分		千円					
		その他特定財源		千円					
差引:一般財源		千円	102,368	105,011	103,063	0			
受益者負担比率		%							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成9年度、対象者を75歳以上(31,855人)から80歳以上(18,069人)に変更した。平成11年度、敬老金支給事業のあり方を検討し、平成12年度から敬老金支給を廃止した。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)								
	今後の予測								

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	長寿祝い品贈呈	整理番号	187					
所属名	高齢者福祉部高齢者活動支援センター事業(コード 121032)	上位施策名(コード)						
予算事務事業名	長寿祝金品の贈呈	コード	22000					
*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する								
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 ? 年度						
	事業終了年度	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 満90歳、満99歳以上、満100歳の高齢者						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	長寿の祝として、寝具、絵画等の祝い品を贈る。なお、百歳以上の該当者の内、希望者には区長ほか区職員が訪問のうえ贈呈する。						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	高齢者が、これからも住みなれた地域において、生きがいをもって、健康でいきいきとした生活を送れるようにする。						
活動指標名		贈呈者数						
成果指標名		高齢者の内、お祝を受けた人の割合 [贈呈者数 ÷ 65歳以上の人口]						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか								
指標	区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%
				計画	実績	計画	年度	
	活動指標	人	788	939	903	115		
	成果指標	%	1	1	1	0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,377	4,946	3,580	831	
	職員数(正規 非常勤)		人	0.21	0.23	0.23	0.15	特記事項 12年度から、事業の対象を百歳以上の区民とした。115名
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,898	2,079	2,079	1,356	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	
	総事業費		千円	5,275	7,025	5,659	2,187	
	単位あたりコスト		千円	7	7	6	19	
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	
		その他特定財源	千円	0	0	0	0	
差引：一般財源		千円	5,275	7,025	5,659	2,187		
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0		
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢化率の推移：昭和50年 7.42%、平成元年 11.44%、平成11年度 16.15%					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		お礼や喜びの電話・手紙が数多く寄せられているが、これらの財源を他の高齢者施策に有効に活用してほしいという要望も増えている。					
	今後の予測		高齢化率の推移：平成17年度 19.52%					

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	敬老会	整理番号	188
-----------	-----	------	-----

所属名	高齢者活動支援センター	コード	121032	上位施策名(コード)
予算事務事業名	*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
敬老会				

事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 25 年度	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 12 年度	老人福祉法第4条 杉並区立高齢者活動支援センター及び敬老会館条例
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 75歳に到達した高齢者	
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 長寿を祝い演芸会に招待する。記念品を贈呈していたが平成10年度から75歳到達者のみに変更し、平成12年度は半寿顕彰に変更。	活動指標名 入場人員
	意図(対象をどのような状態にしたいのか) 長寿を祝い敬老会に来場し楽しいひとときを過ごす	成果指標名 来場率(来場者数/対象者数)

意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか
 高齢者の慰安と交流の場の提供

区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
			計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標	人	5,214	5,500	2,517	4,400		
	活動指標							
	成果指標	来場率(%)	15	15	7	10		
	成果指標							
総事業費・コスト把握	事業費	千円	16,466	6,491	5,749	3,439	特記事項	
	職員数(正規 非常勤)	人	0.20	0.20	0.68	0.20		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,808	1,808	6,146		1,808
		非常勤職員分	千円	0	0	0		0
	総事業費	千円	18,274	8,299	11,895	5,247		
	単位あたりコスト	千円	4	2	5	1		
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0		0
		その他特定財源	千円	2,599		2,259		
		差引:一般財源	千円	15,675	8,299	9,636		5,247
	受益者負担比率	%	0.0	0.0	0.0	0.0		

開始当初から現在までの変化	娯楽の質が変化し「鑑賞する」から「参加する」へ変わった。
事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	テレビの普及、カラオケ等の普及により娯楽の質が変化してきているので魅力がない
今後の予測	区民の生活スタイルや嗜好が多様化し、きめの細かい対応が必要になる

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	75歳顕彰	整理番号	189								
所属名	高齢者福祉部高齢者活動支援センター事業(コード 121032)	上位施策名(コード)									
予算事務事業名	敬老会	コード	22200								
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する									
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11年度									
	事業終了期	<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 11年度									
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 満75歳の区民									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	長寿の祝いとして、記念品(区内共通商品券2千円)を民生委員を通じて贈呈する。									
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	高齢者が、これからも住みなれた地域において、生きがいをもって、健康でいきいきとした生活を送れるようにする。									
		根拠法令等	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 老人福祉法第4条、第20条の7 杉並区立高齢者活動支援センター及び敬老会館条例								
		活動指標名	贈呈者数								
		成果指標名	高齢者の内、お祝を受けた人の割合 [贈呈者数 ÷ 65歳以上の人口]								
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか											
指標	活動指標	人	3,309	11年度 計画	3,509	11年度 実績	3,488	12年度 計画	2,137	目標値 年度	目標値に対する11年度の達成率%
	活動指標										
	成果指標	%	4		4		4		3		
	成果指標										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	9,718	7,819	7,662	5,300				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.45	0.45	0.45	0.45	特記事項 12年度は半寿顕彰として実施。計画では、職員数0.45人としているが、実際に調整、記念品・式典準備に係る職員の実職員数は、1.5人程度になる予定。			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,067	0	4,067	4,067				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0				
	総事業費		千円	13,785	7,819	11,729	9,367				
	単位あたりコスト		千円	4	2	3	4				
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0				
		その他特定財源	千円	0	0	0	0				
差引：一般財源		千円	13,785	7,819	11,729	9,367					
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢化率の推移：昭和50年 7.42%、平成元年 11.44%、平成11年度 16.15%								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		お礼や喜びの電話・手紙が数多く寄せられたが、それとは逆に、これらの財源を他の高齢者施策に有効に活用してほしいという要望もあった。								
	今後の予測		高齢化率の推移：平成17年度 19.52%								

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		無料入浴				整理番号		190		
所属名		高齢者福祉部高齢者活動支援センター管理係		コード		121031		上位施策名(コード)		
予算事務事業名		無料入浴		コード		22400		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する		
事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 49 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業				
事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区高齢者無料入浴事業実施要綱						
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内在住 60 歳以上の者及び付添者								
事務事業の概要	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			活動指標名						
	区内の公衆浴場を月 2 回の日曜日と敬老の日に無料で高齢者に開放する。			年間延利用者数						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			成果指標名						
	高齢者に憩いの場を提供するとともに、高齢者相互が親睦を深めるきっかけづくりを行う。			(代)年間延利用者数						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか										
高齢者の交流の促進を図る。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標		人	168,017	155,000	164,076	150,000			
	活動指標									
	成果指標		人	168,017	155,000	164,076	150,000			
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	63,266	62,659	61,164	57,750			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.20	0.10	0.11	0.10	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,808	904	994	904		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	65,074	63,563	62,158	58,654			
	単位あたりコスト		千円	0	0	0	0			
	財源	受益者負担分		千円						
		その他特定財源		千円						
差引：一般財源		千円	65,074	63,563	62,158	58,654				
受益者負担比率		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			昭和 49 年度 1 1 1 浴場、平成 1 2 年度 5 9 浴場						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			・時間を延長してほしい。(現在、午後 2 時～ 4 時) ・平日にも実施してほしい。						
	今後の予測			浴場料金の値上げと高齢者の増加						

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		老人クラブ運営助成				整理番号		219		
所属名		高齢者活動者支援センター		コード	121032		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		老人クラブ		コード	25000		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 32 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 老人福祉法第4条、第13条第2項 杉並区老人クラブ助成要綱 杉並区老人クラブ連合会補助金交付要綱				
事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		活動指標名		老人クラブ加入人員				
対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 60歳以上の高齢者により自主的に組織され地域に根ざした活動を進める団体		活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		老人クラブの多用な活動を助成し、社会活動、ボランティア活動、生きがいの場を提供する。				
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		クラブ活動を通じて、孤独感の解消や生きがいの高揚、社会活動の推進に役立てる。		成果指標名		老人クラブ加入率				
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか		活力ある高齢社会の実現								
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標		人	11,606	11,800	11,350	11,500			
	活動指標									
	成果指標		率	11	11	10	11			
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	40,631	41,190	40,087	36,530			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.70 0.00	0.60 0.00	0.60 0.00	0.60 0.00	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	6,327	5,423	5,423	5,423		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	46,958	46,613	45,510	41,953			
	単位あたりコスト		千円	4	4	4	4			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0		
		その他特定財源		千円	4,898	4,477	4,345	3,992		
		差引:一般財源		千円	42,060	42,136	41,165	37,961		
	受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢化率の推移 昭和50年 7.42% 平成元年 11.44% 平成11年 16.15% (老人クラブ発足当初は高齢者の娯楽・健康などに重点がおかれていたが、高齢者も社会を支える一員との観点から従来の社会活動に加えボランティア活動に付いても期待される。)							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		前期高齢者からの意見では、高齢者同士の世代間の考え方にへだたりがある。老人クラブ以外の高齢者の自主的団体への助成についての要望があった。							
	今後の予測		高齢化率の推移 平成17年度 19.52% (地域福祉活動に対しては老人クラブは欠かせない存在であるが、助成内容やクラブ育成方法には改善の余地がある。)							

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		老人クラブ指導者研修会				整理番号		220		
所属名		高齢者活動支援センター		コード	121032	上位施策名(コード)				
予算事務事業名		老人クラブ		コード	25000	*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 32 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		老人福祉法第13条第2項					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並区老人クラブ助成要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		60以上の高齢者活動支援センターにより自主的に組織され活動を進める団体		杉並区老人クラブ連合会補助金交付要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		研修を通じ老人クラブの活動が時代・社会の要請にこたえられるものとしていく。吾妻町の老人クラブ連合会と交流事業を行っている。		活動指標名					指導者研修会参加人員 都市交流会実施回数
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		単位クラブ、地区老人クラブ連合会、杉並区老人クラブ連合会のリーダーが会員に新しい時代の要請にこたえる活動や考え方を取り入れていく。		成果指標名					代 ボランティア活動参加クラブ 都市交流事業参加者	
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 活力ある高齢社会の実現										
区分		単位	10年度実績		11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%
					計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標		人	97	100	93	100			
	活動指標		回	1	1	1	1			
	成果指標		クラブ	32	50	55	70			
	成果指標		人	33	30	30	35			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	425	381	187	259			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,808	1,808	1,808	1,808		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	2,233	2,189	1,995	2,067			
	単位あたりコスト		千円	23	22	21	21			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0		
		その他特定財源		千円	0	0	0	0		
		差引：一般財源		千円	2,233	2,189	1,995	2,067		
	受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢化率の推移 昭和50年 7.42% 平成元年11.44% 平成11年16.15%							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		特になし							
	今後の予測		高齢化率の推移 平成17年19.52%(老人クラブの活動が多岐にわたり時代の要請にこたえて行けるものとするためにも活動内容の変化が必要となる。)							

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		シルバー人材センター運営助成				整理番号		221		
所属名		高齢者福祉部高齢者活動支援センター管理係		コード		121031		上位施策名(コード)		
予算事務事業名		シルバー人材センター		コード		25200		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する		
事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 54 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業				
事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区シルバー人材センター補助金交付要綱						
対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		シルバー人材センター						
事務事業の概要	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			活動指標名						
	杉並区シルバー人材センターの円滑な事業運営のため補助金を交付する。			就業実人員 年間契約件数						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			成果指標名						
	高齢者の就業機会の拡大を図る。			会員数 会員の就業率(就業実人員数/会員数*100)						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか										
高齢者の社会参加の機会を拡大し、いきがいの充実を図る。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	15年度			
指標	活動指標		人	1,232	1,260	1,251	1,300			
	活動指標		件	5,636	6,100	6,469	6,300			
	成果指標		人	1,821	1,920	1,913	2,000			
	成果指標		%	68	66	65	65	70	92.9	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	82,465	86,798	85,881	122,843			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.20	0.10	0.11	0.10	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,808	904	994	904		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	84,273	87,702	86,875	123,747			
	単位あたりコスト		千円	68	70	69	95			
	財源	受益者負担分		千円						
		その他特定財源		千円	17,485	18,410	17,060	17,060		
差引:一般財源		千円	66,788	69,292	69,815	106,687				
受益者負担比率		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)									
	今後の予測			就業を希望する高齢者の増加						

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者活動支援センター運営・管理				整理番号		296	
所属名		高齢者福祉部高齢者活動支援センター管理係		コード		121031		上位施策名(コード)	
予算事務事業名		高齢者活動支援センター		コード		30400		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する	
事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 58 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業			
事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		老人福祉法第15条、第20条の7		杉並区立高齢者活動支援センター及び敬老会館条例		老人福祉センター設置運営要綱(国)	
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 60歳以上の区民		活動指標名		センター年間延利用者数		宿泊室年間延利用者数	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		高齢者が快適な時間を過ごせるように設備の保全を行うとともに、大広間の業務や宿泊業務などを運営する。		成果指標名		センター利用率(年間利用者数/年間利用可能定員*100)		年間利用可能定員=開館日*センター定員(430)	
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		高齢者に、楽しい時間・のんびりとくつろげる時間を過ごしてもらい、高齢者同士の交流を深めてもらう。		センター利用率(年間利用者数/年間利用可能定員*100)		年間利用可能定員=開館日*センター定員(430)		宿泊室利用率(年間利用者数/年間利用可能定員*100)	
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか		高齢者に活動の場を提供することにより、高齢者の交流の促進を図る。		年間利用可能定員=宿泊可能日*宿泊定員(30人)					
区分		単位		10年度実績		11年度		12年度	
						計画		実績	
						計画		計画	
								目標値	
								年度	
								目標値に対する11年度の達成率%	
指標		活動指標		人		97,264		93,071	
		活動指標		人		1,926		1,852	
		成果指標		%		74		71	
		成果指標		%		26		25	
総事業費・コスト把握		事業費		千円		93,586		79,455	
		職員数(正規 非常勤)		人		1.30		1.30	
		職員分(超勤分含む)		千円		11,749		11,749	
		非常勤職員分		千円		0		0	
		総事業費		千円		105,335		91,204	
		単位あたりコスト		千円		1		1	
		受益者負担分		千円					
		その他特定財源		千円					
		差引:一般財源		千円		105,335		91,204	
		受益者負担比率		%					
事業を取り巻く環境		開始当初から現在までの変化		施設及び設備は老朽化に伴い、故障や劣化が生じている。利用者は、後期高齢者の比率が高くなってきていると同時に、固定化しつつある。					
		事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		設備の故障などにより、施設の使用に支障が生じた場合、それに対する苦情がある。 舞台運営については、スムーズな進行と適切なカラオケ音量などが利用者に好評である。					
		今後の予測		施設が老朽化しているため、年次修繕計画に準拠した大幅な改修・修繕を行わない限り、施設・設備の故障・劣化は急速に進行する。また、修理などの部品調達ができず、修理不能となる設備も増えてくる。 12年度に入り、複製録音物の使用について音楽著作権協会から厳しい指導があったため、これについて苦情・問題が生じる可能性がある。					

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		機能回復訓練				整理番号		297				
所属名		高齢者活動支援センター事業係		コード	121032		上位施策名(コード)					
予算事務事業名		高齢者活動支援センター運営		コード	30400		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 58 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 老人保健法第12, 18, 20条 杉並区通所機能訓練実施要綱					
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度									
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 概ね40歳以上で、加齢や傷病などにより心身機能が低下している区民のうち通所可能なもの									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		医師の指示に基づき、理学療法士、作業療法士が基本動作や日常生活動作等の通所訓練を6月間週2回行う。終了者を対象に6月間週1回交流会を行う。		活動指標名		利用者数 実施回数					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		生活の質の向上と社会参加を支援し、閉じこもりや日常生活動作能力の低下を防止する。		成果指標名		閉じこもりにならなかった割合 日常生活動作能力が低下しなかった割合					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 高齢者等の在宅生活を支援し、活発で安全な生活を送る。												
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%				
				計画	実績							
指標	活動指標		人	1,350	2,440	1,567	1,760					
	活動指標		回	234	244	244	176					
	成果指標		%	70	50	74	55					
	成果指標		%	85	80	83	90					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	14,605	14,621	14,519	14,579					
	職員数(正規 非常勤)		人	2.10 0.00	2.10 0.00	2.38 0.00	2.00 0.00	特記事項 平成12年度から高井戸リハビリ教室という通称で事業を実施している。定員は非該当グループ10名、退院早期グループ20名の合計30名。自力で通所が困難な場合はリフト付バスにより送迎を行っている。				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	18,980	18,980	21,510			18,076		
		非常勤職員分		千円	0	0	0			0		
	総事業費		千円	33,585	33,601	36,029	32,655					
	単位あたりコスト		千円	25	14	23	19					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0			0		
		その他特定財源		千円	5,518	4,253	5,730			3,712		
差引：一般財源		千円	28,067	29,348	30,299	28,943						
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			平成7年に他課の機能訓練との要綱を統一し、公平性を図った。平成12年度からは介護保険制度の実施にともない他課との連携をとりながら介護予防サービスに体系付けて実施している。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			通所期間を延長してほしい。定員を増やしてほしい。近くに通えるように施設数を増やしてほしい。								
	今後の予測			対象者への活発で安全な生活支援への需要は、今後増加すると見込まれる。介護保険のリハビリテーションや維持期リハビリテーション病棟の設置状況を見ながら検討する必要がある。								

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		浴場組合運営助成				整理番号		298			
所属名		高齢者福祉部高齢者活動支援センター管理係		コード	121031		上位施策名(コード)				
予算事務事業名		高齢者活動支援センター		コード	30400		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 58 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 東京都公衆浴場商業協同組合杉並支部に対する補助金交付要綱	
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 11 年度		活動指標名						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 東京都公衆浴場商業協同組合杉並支部		成果指標名						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		東京都公衆浴場協同組合杉並支部が行う互助事業の運営に要する経費を補助する。		活動指標名						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		互助事業の助成を行うことにより、公衆浴場の活性化を図る。		成果指標名						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 区内産業の振興を図る。											
区分		単位	10年度実績		11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
					計画	実績	計画		年度		
指標	活動指標										
	活動指標										
	成果指標										
	成果指標										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	8,865		8,865		8,865		0	
	職員数(正規 非常勤)		人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	90		90		90		0
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0
	総事業費		千円	8,955		8,955		8,955		0	
	単位あたりコスト		千円								
	財源	受益者負担分		千円							
		その他特定財源		千円							
差引：一般財源		千円	8,955		8,955		8,955		0		
受益者負担比率		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)										
	今後の予測										

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	電話訪問事業	整理番号	299					
所属名	高齢者福祉部高齢者活動支援センター管理(コード)	121031	上位施策名(コード)					
予算事務事業名	*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する							
電話訪問事業	コード	30400						
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 49 年度						
	事業終了期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 65歳以上の一人暮らし高齢者または65歳以上の高齢者のみ世帯。近隣に親族が居住していないこと。所得税が年額420,000円以下						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	電話訪問員(民生委員)を火～土曜日に4名ずつ配置し、対象高齢者に電話による訪問を行う。電話訪問員36名。						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	病気や事故による最悪の状況を未然に防止する。孤独感や不安感を解消する。各種相談を気軽にでき、適切な助言を得られる。						
根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 杉並区高齢者電話訪問事業運営要綱 杉並区高齢者電話訪問事業運営要綱実施細目								
活動加指標名		対象者数 電話訪問のべ件数(通話回数)						
成果指標名		電話訪問利用者の満足度(利用者の内、入院、転居、死亡を除き、翌年度も継続利用する人数の割合) 訪問件数中、最終的に安否を確認できた割合						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 日常生活支援サービスの一環として有効である。								
指標	区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%
				計画	実績	計画	年度	
	活動加指標	人	1,200	600	584			
	活動加指標	件	29,337	29,280	28,810	24,400		
総事業費・コスト把握	成果指標	%		100	99	100		
	成果指標	%		100	99	100		
	事業費	千円	4,024	4,032	3,867	2,520		
	職員数(正規 非常勤)	人	0.20	0.20	0.23	0.20	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,808	1,808	2,079		1,808
		非常勤職員分	千円	0	0	0		0
	総事業費	千円	5,832	5,840	5,946	4,328		
	単位あたりコスト	千円	5	10	10			
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0		0
		その他特定財源	千円					1,260
差引:一般財源		千円	5,832	5,840	5,946	3,068		
受益者負担比率	%	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	65歳以上の区内高齢者数と割合(区内総人口に対する構成比) 平成6年度69921人、7.2% 平成11年度81086人、16.1%						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	楽しみにしている、有難い、電話口にできるのが大変、電話を待つのではなく自分からかけたい。						
	今後の予測	平成17年の65歳以上の区内一人暮らし高齢者+高齢者のみ世帯数 39000人 (平成11年度は30500人、37.6%から算出)						

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	健康・就労相談	整理番号	300
-----------	---------	------	-----

所属名 高齢者活動支援センター事業係	コード	121032	上位施策名(コード)
予算事務事業名			*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する
高齢者活動支援センター	コード	30400	

事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 58 年度	根拠法令等	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 年度	老人福祉法第14条の5		
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 、60歳以上の区民	杉並区高齢者活動支援センター及び敬老会館条例		
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 一般健康相談(保健婦)専門健康相談(医師)生活相談、健康教育、敬老会館巡回、応急処置就業相談	活動指標名 センター相談室利用者数		
	意図(対象をどのような状態にしたいのか) 高齢者の疾病予防と治療療養生活について助言指導し、健康の保持増進を図る。	成果指標名 センター利用者による相談率(相談者数/センター利用者数)		

意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか
 高齢者の健康に関する認識を高め疾病予防と早期発見、保持増進に役立つ。

区分	単位	10年度実績	11年度		12年度		目標値年度	目標値に対する11年度の達成率%	
			計画	実績	計画	実績			
指標	活動指標	人	5,223	6,000	5,116	6,000			
	活動指標								
	成果指標	率	6	6	6	6			
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,001	1,980	1,937	1,693			
	職員数(正規 非常勤)	人	1.00 3.00	1.00 3.00	1.13 3.00	1.00 3.00		特記事項 敬老会館巡回数は平成12年7月より高齢者事業課保健婦4人の協力体制あり	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	9,038	9,038	10,213	9,038		
		非常勤職員分	千円	9,348	9,348	9,348	9,348		
	総事業費	千円	20,387	20,366	21,498	20,079			
	単位あたりコスト	千円	4	3	4	3			
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0		
		その他特定財源	千円	4,524	3,988	4,320	4,562		
		差引:一般財源	千円	15,863	16,378	17,178	15,517		
	受益者負担比率	%	0.0	0.0	0.0	0.0			

開始当初から現在までの変化	東京都の高齢者人口(構成比%)平成4年16.5, 6年17.9, 8年19.4, 10年20.8 利用者の後期高齢化が目立つと共に単身者、痴呆など処遇困難な相談が多くなっている
事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	身近で健康相談ができることで、区民からの定期的巡回の要望が強い
今後の予測	疾病予防、早期発見により元気高齢者の増加が見込まれる

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	ゲートボール場運営	整理番号	301
-----------	-----------	------	-----

所属名 高齢者福祉部高齢者活動支援センター管理係 コード 121031	上位施策名(コード)
予算事務事業名 高齢者活動支援センター コード 30400	*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する

事務事業の概要	事業開始年度 ● 昭和 ○ 平成 58 年度	根拠法令等	<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期 ● 無 ○ 有 平成 年度	杉並区高齢者ゲートボール場管理運営要綱	
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 60歳以上の区民で、構成員10名以上の団体		
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) ゲートボール場の適切な管理及びゲートボール団体の登録、使用日程の抽選等の運営。	活動指標名 登録団体数	
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) ゲートボールを通じて高齢者のグループ活動・スポーツ活動を推進する。	成果指標名 ゲートボール場使用可能枠に対する実際の使用状況	
	意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 高齢者の健康を増進する。		

区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
			計画	実績					
指標	活動指標	団体	24	25	26	27	30	86.7	
	活動指標								
	成果指標	%	100	100	100	100	100	100.0	
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	556	471	463	342			
	職員数(正規 非常勤)	人	0.10	0.10	0.11	0.10	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	904	904	994			904
		非常勤職員分	千円	0	0	0			0
	総事業費		千円	1,460	1,375	1,457			1,246
	単位あたりコスト		千円	61	55	56			46
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0			0
		その他特定財源	千円	0	0	0			0
		差引:一般財源	千円	1,460	1,375	1,457			1,246
	受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0			0.0

開始当初から現在までの変化	利用団体が徐々に増えてきている。
事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	開設当初からコートの水はけが悪く、大雨や雪の後ゲームに支障をきたすことがあり、利用者からの苦情がある。
今後の予測	現在でもほぼ毎日コート2面とも使用されており、団体数も限界に達しつつある。

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉の樹大学				整理番号		302		
所属名		高齢者活動支援センター事業係		コード	121032	上位施策名(コード)				
予算事務事業名		高齢者活動支援センター		コード	30400	*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 59 年度		根拠法令等					
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 老人福祉法第4条、第5条の3 老人福祉法第20条の7 杉並区立高齢者活動支援センター条例					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 60歳以上の区民							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		毎年3月に募集。高齢者のために講義・実技を大学として開催。		活動指標名 授業開催数					
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		健康で生きがいのある生活を営める、地域社会の発展に主体的に取り組める、ともに行動する仲間作り。		成果指標名 出席率 活動しているOB会					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 杉の樹大学OB会結成、ボランティア活動等高齢者の社会活動に貢献している。										
区分		単位	10年度実績		11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%
					計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標		回	24	24	24	41			
	活動指標									
	成果指標		率	86	90	87	90			
	成果指標		数	10	12	12	14			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	949	1,147	917	1,080			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.00 0.00	0.90 0.00	0.90 0.00	0.80 0.00	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	9,038	8,134	8,134	7,230		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	9,987	9,281	9,051	8,310			
	単位あたりコスト		千円	416	387	377	203			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0		
		その他特定財源		千円	19	19	19	19		
		差引:一般財源		千円	9,968	9,262	9,032	8,291		
	受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢化率の推移 昭和50年 7.42% 平成元年 11.44% 平成11年 16.15% (60歳以上の高齢者の数が増大し区民全体の高齢化率が上昇している。平成12年度から杉の樹スポーツ大学と統合。)							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		定員増および選択科目などカリキュラムの拡充に関する需要がでている。また、学習意欲に差があることから入学金の徴収や入学試験の導入についての意見もある。							
	今後の予測		高齢者の増加や生涯学習の要望増によりカリキュラムや学部を増設、選択性の取り入れなどが必要となる。また高齢者自身が事務局を運営し企画段階から係れるようにする。							

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉の樹スポーツ大学				整理番号		303		
所属名		高齢者活動支援センター 事業係		コード	121032	上位施策名(コード)				
予算事務事業名		高齢者活動支援センター		コード	30400	*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 60 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業			
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 11 年度		老人福祉法第4条、5条の3					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		老人福祉法第20条の7					
	60歳以上の区民で運動に支障のない人				杉並区立高齢者活動支援センター及び敬老会館条例					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		健康教育や軽スポーツなど、高齢者でも可能な運動を中心として実施。		活動指標名		杉の樹スポーツ大学学生数 杉の樹スポーツ大学授業回数			
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		高齢者の健康の保持増進と仲間づくり。		成果指標名		杉の樹スポーツ大学学生数 杉の樹スポーツ大学授業回数				
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか OB会の結成、ボランティア等の社会活動による社会福祉の増進。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標		人	32	33	33	0			
	活動指標		回	13	13	13	0			
	成果指標		人	32	33	33	0			
	成果指標		回	13	13	13	0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,503	317	317	0			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.34 0.00	0.34 0.00	0.34 0.00	0.00 0.00	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,073	3,073	3,073	0		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	4,576	3,390	3,390	0			
	単位あたりコスト		千円	143	103	103	#DIV/0!			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0		
		その他特定財源		千円	0	15	15	0		
		差引:一般財源		千円	4,576	3,375	3,375	0		
	受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	#DIV/0!			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		昭和60年から開始。平成10年度より健康診断に関して、一部負担を導入。平成11年度には事前に健康診断を受けることとしたため、事実上全額負担となった。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		1つの科目にかかる時間を増やしてほしいとの要望がある。							
	今後の予測		平成12年度より杉の樹大学と統合した。							

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	公開講座		整理番号	304				
所属名	高齢者活動支援センター事業係	コード	121032	上位施策名(コード)				
予算事務事業名	*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する							
高齢者活動支援センター	コード	30400						
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 58 年度	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業					
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度	老人福祉法第4条、第13条第1項、第20条の7					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 60歳以上の高齢者	杉並区高齢者活動支援センター及び敬老会館条例					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	社会情勢や分化・健康に関するテーマの講座を開催する		活動指標名 実施回数				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	高齢者の生きがいある生活の実現と健康の保持増進を図る		成果指標名 受講者数				
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか								
指標	区分	単位	10年度実績	11年度 計画 実績	12年度 計画	目標値 年度	目標値に対する11年度の達成率%	
	活動指標	回	9	11 5	9			
	成果指標	人	467	750 507	600			
	成果指標							
総事業費・コスト把握	事業費	千円	408	428 252	345			
	職員数(正規 非常勤)	人	0.20	0.20 0.11	0.15	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,808	1,808 994	1,356		
		非常勤職員分	千円	0	0 0	0		
	総事業費	千円	2,216	2,236 1,246	1,701			
	単位あたりコスト	千円	246	203 249	189			
	財源	受益者負担分	千円	0	0 0	0		
		その他特定財源	千円	8	8 3	3		
差引：一般財源		千円	2,208	2,228 1,243	1,698			
	受益者負担比率	%	0.0	0.0 0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	高齢化率の推移：昭和58年 9.83%、平成12年 16.53% (人生八十年時代を迎えて高齢者の学習に対する意欲や健康への関心は、ますます高揚し、また、多様化してきている。)						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	健康に関する講座の要望は相変わらず多いが、加えて、最近パソコン講座等情報化に対応した講座の要望が数多く寄せられている。						
	今後の予測	高齢化率の推移：平成17年 19.52% (高齢者の生活に影響をもたらす情報化・グローバル化・少子高齢化等社会の変化や高齢者の意識・価値観の多様化に対応した講座の開設が必要となる。)						

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		映画会・各種大会				整理番号		305		
所属名		高齢者活動支援センター 事業係		コード	121032		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		高齢者活動支援センター		コード	30400		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 59 年度		根拠法令等					
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 老人福祉法第20条の7 杉並区立高齢者活動支援センター及び敬老会館条例					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 60歳以上の区民							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		「映画会」という名称で高齢者に馴染み深い映画を上映する。「高齢者はつらつ運動会」「囲碁」「将棋」「オセロ」「パンパー」という名称で参加者を募り、各大会を実施。		活動指標名 映画会参加者総数 各種大会参加者総数					
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		閉じこもり予防や精神面でのリフレッシュを図る。高齢者の健康増進の意識を高めるとともに、交流の場として活用する。		成果指標名 事業参加率(参加者数/定員)					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 地域間及び世代間の交流による、地域コミュニティの育成。活力ある高齢社会の実現。										
区分		単位	10年度実績		11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%
					計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標		人	603	700	339	200			
	活動指標		人	517	660	490	660			
	成果指標		率	94	1	88	1			
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,090	1,722	1,158	1,260			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.58 0.00	0.68 0.00	0.68 0.00	0.68 0.00		特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	5,242	6,146	6,146	6,146		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	7,332	7,868	7,304	7,406			
	単位あたりコスト		千円	12	11	22	37			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0		
		その他特定財源		千円	1,452	1,195	1,195	1,195		
		差引:一般財源		千円	5,880	6,673	6,109	6,211		
		受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0		
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢化率: 昭和50年 7.42% 平成元年度 11.44% 平成11年度 16.15% 映画会は平成12年度から敬老会館での実施をやめ、季節事業的な年2回(9月敬老の日と1月センター大広間舞台びらき)のみの実施とした。高齢者はつらつ運動会は、平成12年度からはこの運動会を大学の体育祭にも位置付けた。運動会以外の各種大会は、平成12年度より実行委員を募って実施。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)									
	今後の予測		高齢化率の推移: 平成17年度 19.52% 各種大会は実行委員の企画・運営により実施方針を決定していく。							

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	季節事業		整理番号	306					
所属名	高齢者活動支援センター事業係	コード	121032	上位施策名(コード)					
予算事務事業名	*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する								
高齢者活動支援センター	コード	30400							
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 60 年度		根拠法令等	<input type="checkbox"/> 実施計画事業				
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		老人福祉法第4条、第13条第1項、第20条の7					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他							
	60歳以上の高齢者				杉並区高齢者活動支援センター及び敬老会館条例				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	活動指標名							
参加者相互の親睦を図るとともに、日頃の練習の成果を発表する場や機会を提供する。				事業実施回数					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	成果指標名								
高齢者の生きがいある生活を実現と健康の保持増進を図る。				参加者数					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか									
指標	区分	単位	10年度実績	11年度 計画	11年度 実績	12年度 計画	目標値 年度	目標値に対する11年度の達成率%	
	活動指標	回	3	3	3	3			
	成果指標	人	1,676	1,700	1,499	1,700			
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	14	106	75	39			
	職員数(正規 非常勤)	人	0.09	0.09	0.06	0.06		特記事項 12年度特定財源は補助制度が大きく変わり、今後、都和協議するため、現時点においては未定である	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	813	813	542	542		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費	千円	827	919	617	581			
	単位あたりコスト	千円	276	306	206	194			
	財源	受益者負担分	千円		0	0	0		
		その他特定財源	千円	32	34	35	0		
差引:一般財源		千円	795	885	582	581			
受益者負担比率	%		0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	高齢化率の推移: 昭和60年 10.22%、平成12年 16.53% (高齢者の価値観やライフスタイルの多様化に伴い、参加者の減少傾向は見られるものの、まだ多数の区民が参加している。)							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	高井戸センターまつりとして、区民センター・温水プールと共催し、地域のまつりとして定着しており、発表や交流の場や機会として引き続き開催を望む要望がよせられている。							
	今後の予測	高齢化率の推移: 平成17年 19.52% (高齢者人口の増加もあり、運営方法を工夫することで、参加者の増加が期待できる。)							

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	いきがい活動支援	整理番号	307
-----------	----------	------	-----

所属名	高齢者活動支援センター	事業係	コード	121032	上位施策名(コード)
予算事務事業名	*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
高齢者活動支援センター					

事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11 年度	根拠法令等	<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度	老人福祉法第4条、5条の3 老人福祉法第20条の7 杉並区立高齢者活動支援センター及び敬老会館条例	
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 60歳以上の元気な高齢者及び区内の主要な高齢者団体	活動指標名 各種高齢者団体による検討会の開催 社会活動参加セミナー延べ受講者数	
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 高齢者団体による地域活動プラン策定検討会開催(老人クラブ連合会5回、杉の樹大学OB連合会5回) 社会活動参加セミナー開催4回 地域活動のリーダー育成(指導者研修)	成果指標名 (代) 検討会に出席した延べ人員128名 (代) セミナー延べ受講者数81名	
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 高齢者が社会参加することにより、いきがいや自己実現を見出して、充実した人生が送れるように環境整備を行う。	意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 高齢者の社会参加を活発にし、地域社会の活性化を図ることができる。また、とじこもりをなくし、自立生活の助長を図ることができる。	

意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか
 高齢者の社会参加を活発にし、地域社会の活性化を図ることができる。また、とじこもりをなくし、自立生活の助長を図ることができる。

区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
			計画	実績	計画	15年度			
指標	活動指標			10	13	10	6	216.7	
	活動指標					120	540		
	成果指標					128			
	成果指標					81			
総事業費・コスト把握	事業費	千円		300	204	378			
	職員数(正規 非常勤)	人		1.00	1.13	1.00	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	9,038	10,213			9,038
		非常勤職員分	千円	0	0	0			0
	総事業費		千円	0	9,338	10,417			9,416
	単位あたりコスト		千円		934	801			942
	財源	受益者負担分	千円						
		その他特定財源	千円						
差引:一般財源		千円	0	9,338	10,417	9,416			
受益者負担比率		%							

開始当初から現在までの変化	高齢化が進展する中で、高齢者の能力の活用を図るために、高齢者の社会参加の仕組みづくりを進めていくための方策が検討されるようになった。
事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
今後の予測	介護保険の対象とならない元気な高齢者の対策として、社会参加を促し、自立生活の助長を図るための方策と、高齢者の能力活用の方策を図ることが、今後ますます必要とされることが見込まれる。

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名 老人カウンセラー活動（わくわく活動） 整理番号 309

所属名 高齢者活動支援センター事業係 コード 121032 上位施策名（コード）

予算事務事業名 *この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する

敬老会館 コード 30600

事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 53 年度	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度	高齢者活動支援センター及び敬老会館条例 杉並区高齢者支援ワーカー設置条例
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 60歳以上の区民	
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 19名の高齢者支援ワーカーが敬老会館を月2回巡回し、高齢者に対し支援助言をする。	活動指標名 巡回回数
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 敬老会館をおとづれる高齢者の生活に関する各種相談やレクリエーション活動の支援・助言を行い、高齢者福祉の増進を図る	成果指標名 （代）閉じこもり防止のできた者の数

意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか
 高齢者の福祉増進や自立を支援する

区分	単位	10年度実績	11年度		12年度		目標値年度	目標値に対する11年度の達成率%	
			計画	実績	計画	実績			
指標	活動指標	回	1,123	1,188	1,047	816			
	活動指標								
	成果指標	人	24,092	24,948	22,126	20,000			
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	3,057	3,075	2,918	2,878			
	職員数(正規 非常勤)	人	0.40 16.00	0.40 16.00	0.45 16.00	0.40 13.20	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,615	3,615	4,067			3,615
		非常勤職員分	千円	49,856	49,856	49,856			41,131
	総事業費		千円	56,528	56,546	56,841			47,624
	単位あたりコスト		千円	50	48	54			58
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0			0
		その他特定財源	千円	2,954	2,954	2,911			2,911
		差引：一般財源	千円	53,574	53,592	53,930			44,713
		受益者負担比率	%	0.0	0.0	0.0			0.0

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	東京都の高齢者人口(構成比%)平成4年度 16.5, 6年度 17.9, 8年度 19.4, 10年度 20.8
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	手芸、体操、リラクゼーション等のプログラムや健康相談等を行っており、身近な敬老会館で健康の増進や、閉じこもりの防止になるなど楽しみにしている。
	今後の予測	元気高齢者のためのわくわく活動の支援等の在り方を検討し、今後増えていくであろう、身体機能低下のために閉じこもりがちになる高齢者の予防の活動を充実していくことが必要

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		文化事業		整理番号		310											
所属名		高齢者活動支援センター 事業係		コード		121032											
上位施策名(コード)																	
予算事務事業名		敬老会館		コード		30600											
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する															
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 58 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業									
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		老人福祉法第20条の7												
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並区遊財産管理規定												
	60歳以上の敬老会館利用者		杉並区立高齢者活動支援センター及び敬老会館条例														
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名														
月1回、区内在住の落語家に依頼し、敬老寄席を実施。区民が自主的に活動科目を決定し、趣味の講座を実施。		敬老寄席実施回数 趣味の講座実施講座数															
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名															
敬老会館利用者の生きがいづくりや閉じこもり予防。利用者相互の親睦を深める。		参加率(参加者/定員)															
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか		活力ある高齢社会の実現															
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか		活力ある高齢社会の実現															
区分		単位		10年度実績		11年度		12年度		目標値		目標値に対する11年度の達成率%					
						計画		実績		計画		年度					
指標		活動指標		回		12		12		12		10					
		活動指標		講座		36		40		32		36					
		成果指標		率		96		100		94		100					
		成果指標															
総事業費・コスト把握		事業費		千円		1,967		2,220		2,220		1,980					
		職員数(正規 非常勤)		人		0.20				0.23							
		人件費		職員分(超勤分含む)		千円		1,808		0		2,079		0			
				非常勤職員分		千円		0		0		0		0			
		総事業費		千円		3,775		2,220		4,299		1,980		特記事項			
		単位あたりコスト		千円		315		185		358		198					
		財源		受益者負担分		千円											
				その他特定財源		千円		1,896				1,794					
				差引:一般財源		千円		1,879		2,220		2,505				1,980	
		受益者負担比率		%													
事業を取り巻く環境		開始当初から現在までの変化		高齢化率:昭和50年 7.42%、平成元年 11.44%、平成11年度 16.15%の推移敬老寄席は、実施回数を年12回から年10回に減らした。趣味の講座は平成12年度より支援期間を「5年程度(7年を限度)」と明確した。													
		事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		敬老寄席に関しては、実施時間の延長などの要望がある。趣味の講座に関しては、講座の使用時間についての要望がある。													
		今後の予測		高齢化率の推移:平成17年度 19.52% 高齢者自立支援の一環として今後も実施するが、実施方法を高齢者の自主的・主体的な事業運営へと転換していくなかで、センター主催の文化事業は縮小していく。													

平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		健康事業				整理番号		311			
所属名		高齢者活動支援センター事業係		コード		61032		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		敬老会館		コード		30600		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 48 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業					
事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区高齢者活動支援センター及び敬老会館設置条例							
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 60歳以上の区民 杉並区老人三療サービス連絡協議会		杉並区三療サービス事業実施要綱 敬老会館における機能回復訓練実施要綱							
事務事業の概要	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			活動指標名							
	、三療サービスは32敬老会館において毎月36回、マッサージを行う、健康体操は各敬老会館を理学療法士(嘱託)5名が巡回し体操を行っている。			実施回数 巡回回数							
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)			成果指標名							
	、健康で穏やかな生活の維持 視覚障害者の就労機会の確保 、身体機能の回復・維持			受術可能回数の充足率 (代)参加者数							
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか											
高齢者の健康づくり や視覚障害者の生活の向上											
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績	計画	年度				
指標	活動指標		回	455	456	453	432				
	活動指標		回	269	360	338	348				
	成果指標		率	93	100	94	100				
	成果指標		人	2,960	3,960	3,625	3,828				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	18,635	19,425	18,911	14,953				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30	5.00	0.30	5.00	0.30	5.00	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,711	2,711	3,073	2,711			
		非常勤職員分		千円	15,580	15,580	15,580	15,580			
	総事業費		千円	36,926	37,716	37,564	33,244				
	単位あたりコスト		千円	81	83	83	77				
	財源	受益者負担分		千円	2,530	2,736	2,544	3,628			
		その他特定財源		千円	6,549	6,549	6,409	6,409			
		差引:一般財源		千円	27,847	28,431	28,611	23,207			
受益者負担比率		%	6.9	7.3	6.8	10.9					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			東京都高齢者人口(60歳以上の構成比%) 平成4年~16.5 平成6年~17.9 平成8年~19.4 平成10年~20.8							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			、三療サービスは利用機会の均等化 施術者技量の差の是正 、健康体操は健康管理が図られ好評							
	今後の予測			高齢者の増加にともない需要が見込まれる							